

平成29年度の森林環境整備事業実績にかかる評価 および平成30年度事業計画について

平成30年8月

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課

目次

(1) 危険渓流の流木対策事業	1
(2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業	2 3
(3) 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）	4 3
(4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）	5 9
(5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源(林地残材等)活用）	6 4
(6) 子育て施設木のぬくもり推進事業	6 9

① 危険渓流の流木対策事業

【目的】

局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をふさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。

【事業概要】

- ・事業対象区域：山地災害危険地区「崩壊土砂流出危険地区」、保安林外
(危険度Aランク・保全対象20戸以上・治山事業の未着手地域)
- ・事業箇所数：30箇所
- ・事業内容：
 - ・ハード対策
土石流発生を抑止する治山ダムの整備
流木となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出
防災機能を強化する荒廃森林の整備（強度間伐等）
 - ・ソフト対策
防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成
事業の効果検証等
- ・事業の工程：初年度～ 現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）
森林所有者、市町村、地元自治会等との調整
森林所有者と協定書を締結し事業実施
※協定書により、10年間の森林の維持



土石流や流木の被害を防ぐ治山ダム



災害に強い強度間伐による森づくり



小学校での防災教室



地域協働によるマップづくり

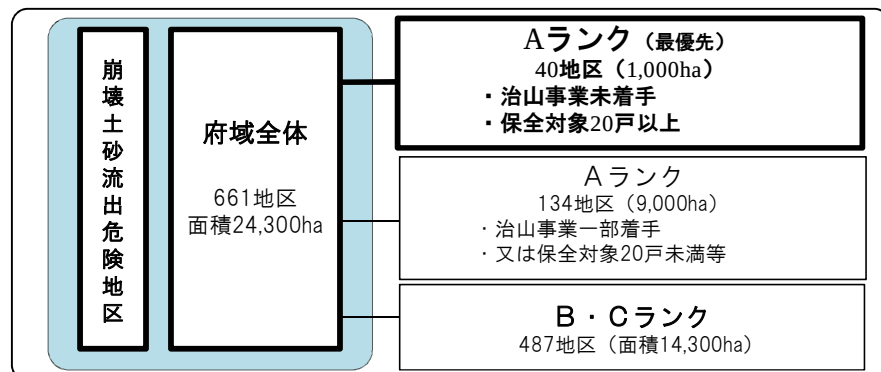
(単位：千円)

【事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		H31～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	30	2,006,632	8	298,000	16	522,000	16	546,000	20	640,632
(新規着手件数)			(8)		(8)		(8)		(6)	

※H31までに着手

事業対象区域の選定方法



事業実施

豪雨時に流出の恐れのある
渓流沿いの危険木



実施箇所

■事業対象区域

●保安林外

対象：30地区（面積750ha）

【参考】

保安林内については、平成27年度より、
知事重点事業として国庫補助金も活用し、
先行して実施（H27～）
対象：10地区（面積250ha）

自然災害から府民の暮らしを守る 危険溪流の流木対策

(1)-1

近年の災害の状況



水路閉塞による国道通行止
H26年8月(箕面市)



溪流閉塞による国道通行止
H25年9月(千早赤阪村)

施行地の全景



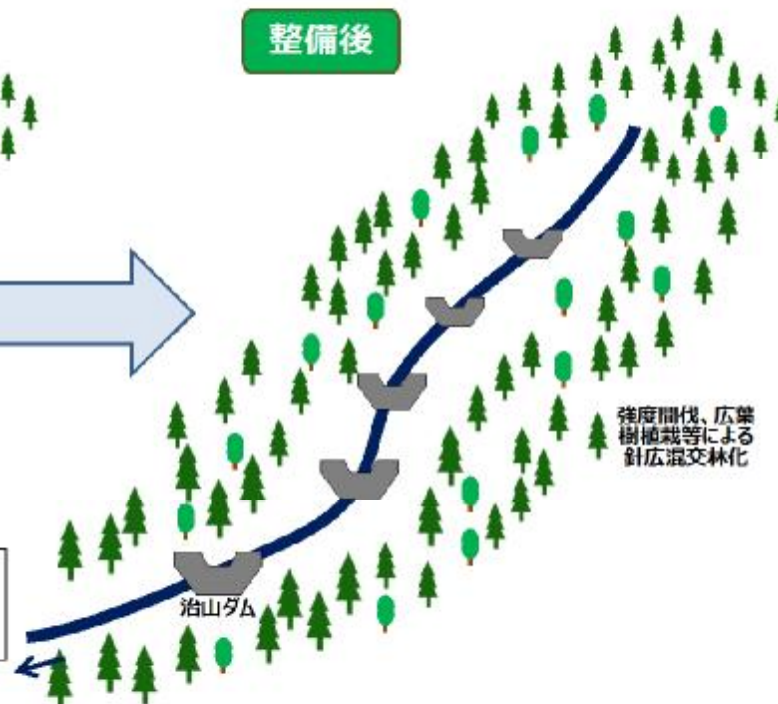
山地に近接する住宅地の状況
(東大阪市)

整備前



- ・流木防止のための治山ダム
- ・倒木、危険木の伐採・搬出
- ・強度間伐と広葉樹の植栽等

整備後



強度間伐、広葉樹植栽等による
針広混交林化

治山ダム

溪流内の状況



流木となる恐れのある林内の
倒木・危険木の状況(枚方市)

整備内容



治山ダムの設置により、溪流勾配を
緩和し土石流の発生を未然に防止(千早赤阪村)



森林整備(間伐)による表土
流出の防止(千早赤阪村)

平成29年度 危険渓流の流木対策事業実績

箇所名	新規・継続	計画数量					実績数量				
		土石流対策		流木対策	減災対策		土石流対策		流木対策	減災対策	
		治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)	治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)
(1) 池田市伏尾町	継続	1	1.0	100	1	1	1	0.8	100	1	1
(2) 豊能町吉川	継続	2	6.0	100	1	1	2	3.0	300	1	1
(3) 能勢町宿野	新規	1	1.0	200	1	1	1	0.5	200	1	1
(4) 高槻市出灰	新規	2	1.0	300	1	1	0	0.0	0	1	1
(5) 交野市私市	継続	2	2.0	—	1	1	2	2.0	—	1	1
(6) 四條畷市南野	継続	2	1.2	—	1	1	2	0.6	—	1	1
(7) 交野市私市北	新規	2	2.0	450	1	1	2	2.0	500	1	1
(8) 大東市寺川	新規	1	0.8	150	1	1	1	0.4	70	1	1
(9) 千早赤阪村水分・河南町青崩	継続	—	1.0	—	1	1	—	0.0	—	1	1
(10) 千早赤阪村水分中代	継続	1	1.0	100	1	1	2	1.0	100	1	1
(11) 河南町下河内	新規	1	6.0	350	1	1	1	1.5	100	1	1
(12) 河内長野市天見	新規	2	2.0	350	1	1	2	5.1	200	1	1
(13) 和泉市仏並町	継続	3	4.0	100	1	1	3	4.8	100	1	1
(14) 岸和田市相川町	継続	2	1.0	200	1	1	2	1.0	200	1	1
(15) 貝塚市木積	新規	2	5.0	300	1	1	3	0.0	300	1	1
(16) 和泉市春木川町	新規	—	5.0	300	1	1	—	0.0	0	1	1
16箇所(新規8箇所、継続8箇所)		24	40.0	3,000	16	16	24	22.7	2,170	16	16

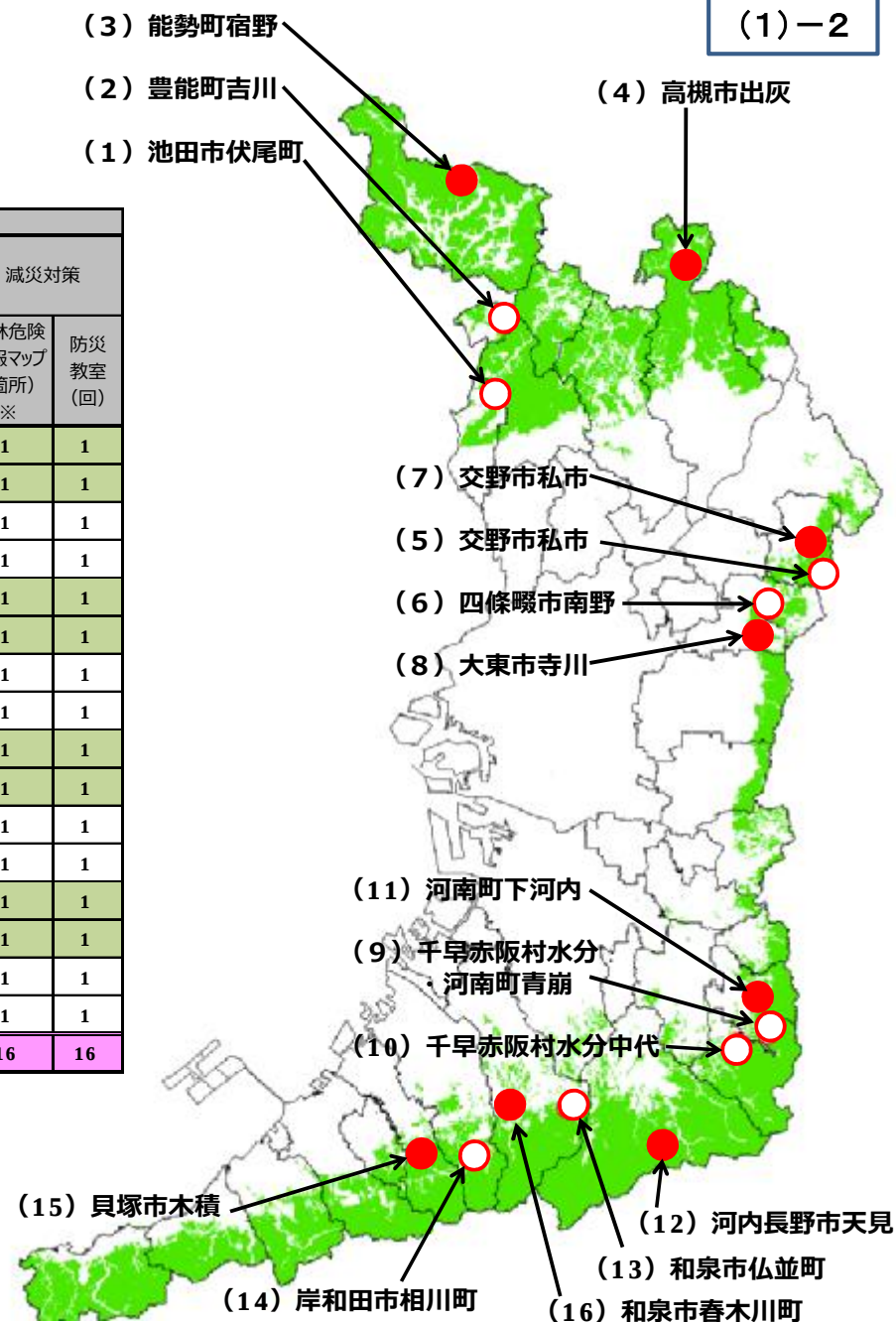
※1年目：原案、2年目：マップ完成

凡 例

■ 地域森林計画対象民有林

○ 平成28年度からの継続箇所(8箇所)

● 平成29年度新規着手の箇所(8箇所)

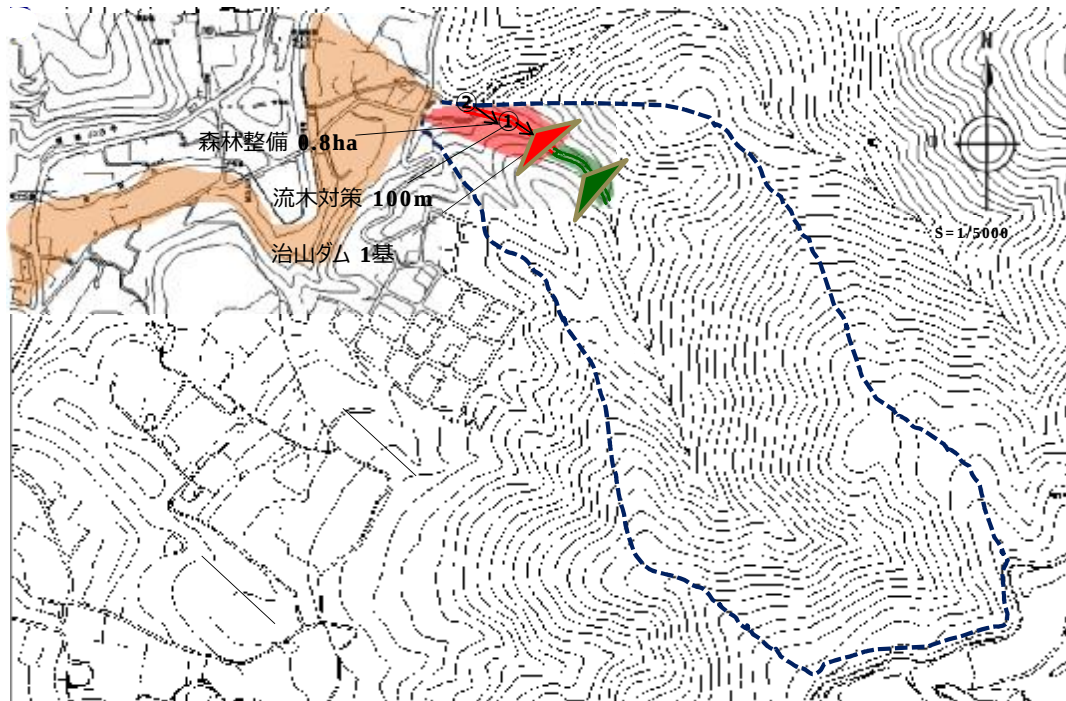


平成29年度 危険渓流の流木対策事業実績

ふしおちよう (1) 池田市伏尾町地区

(1)-2

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム (基)	1	1	
森林整備 (ha)	1.0	0.8	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
流木対策 (m)	100	100	

【凡例】	▲ 治山ダム (H28)	— 流木対策 (H28)
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム (H29)	— 流木対策 (H29)
■ 保全対象	■ 森林整備 (H28)	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備 (H29)	

【H29年度の施工状況】



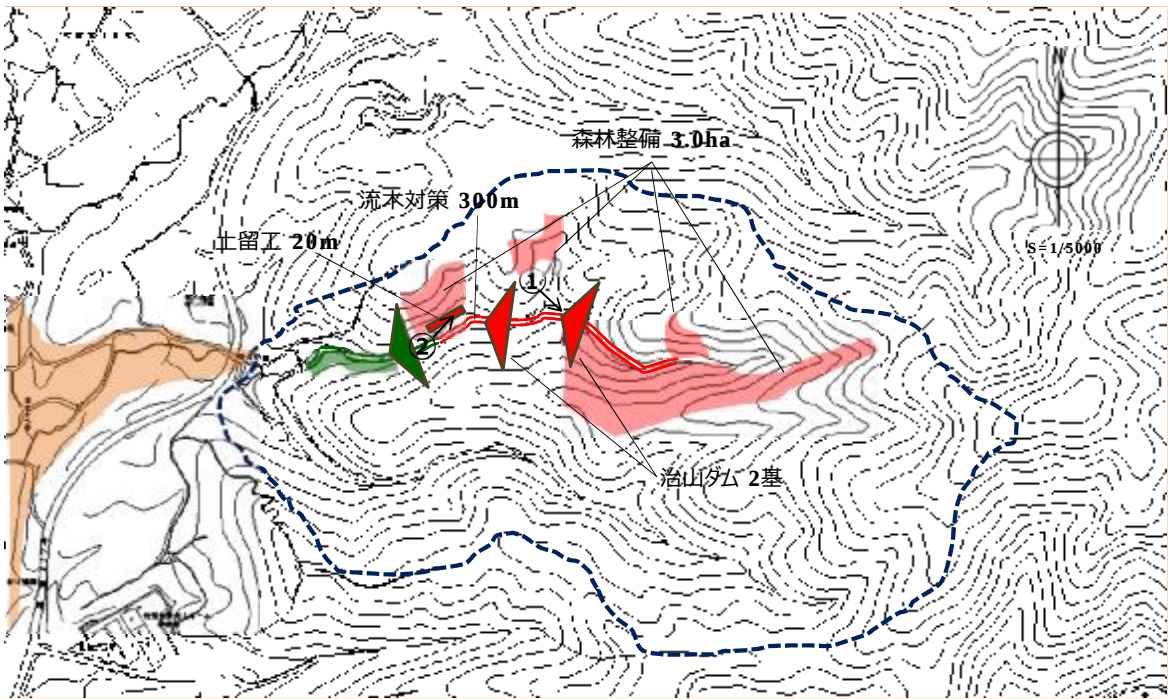
写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 森林整備と溪流内の危険木を除去した状況

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績（2）豊能町吉川地区

【平面図】



【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 土留工と森林整備（植栽工）の状況

内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：地籍混乱地で一部の所有者が特定できず整備区域が減少（引き続き所有者特定に努める） 流木対策：台風の影響もあり、詳細な調査・測量した結果、整備区域が増加
森林整備（ha）	6.0	3.0	
流木対策（m）	100	300	

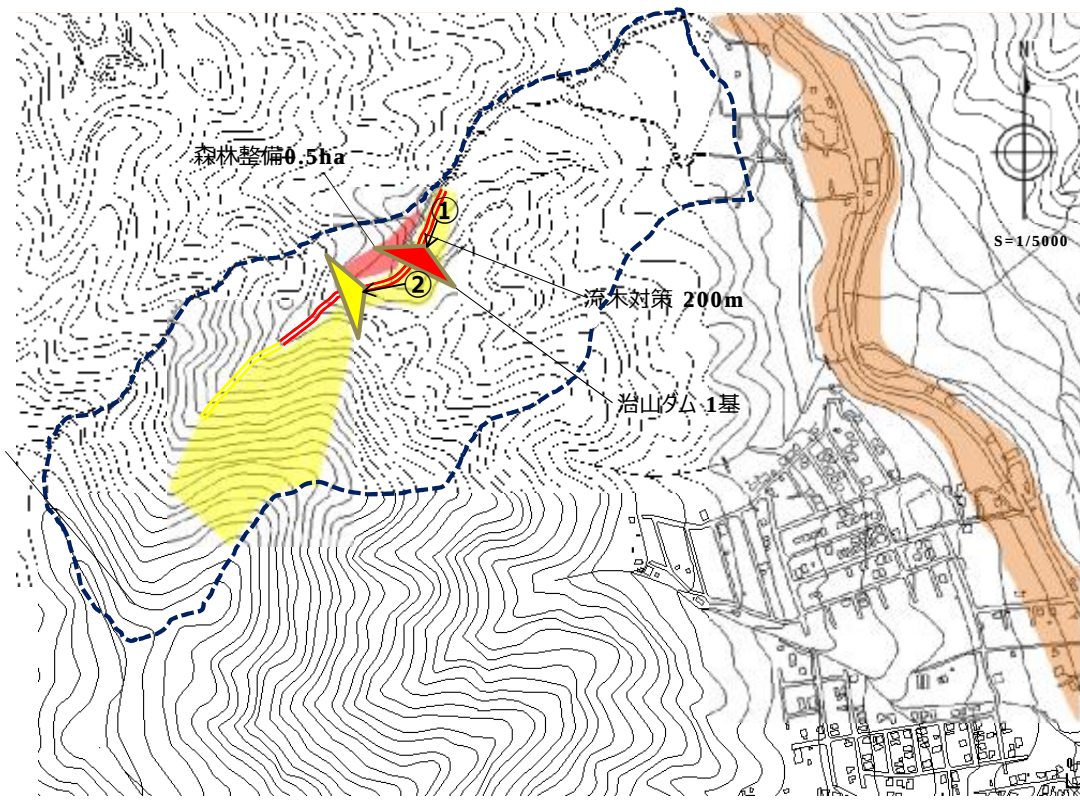
【凡例】	▲ 治山ダム（H28）	— 流木対策（H28）
⋯ 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
■ 保全対象	■ 森林整備（H28）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H29）	

しゅくの

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績

(3) 能勢町宿野地区

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム (基)	1	1	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
森林整備 (ha)	1.0	0.5	
流木対策 (m)	200	200	

【凡例】

山地災害危険地区

保全対象

①→ 写真撮影位置

治山ダム (H29)

治山ダム (H30)

森林整備 (H29)

森林整備 (H30)

流木対策 (H29)

流木対策 (H30)

【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況

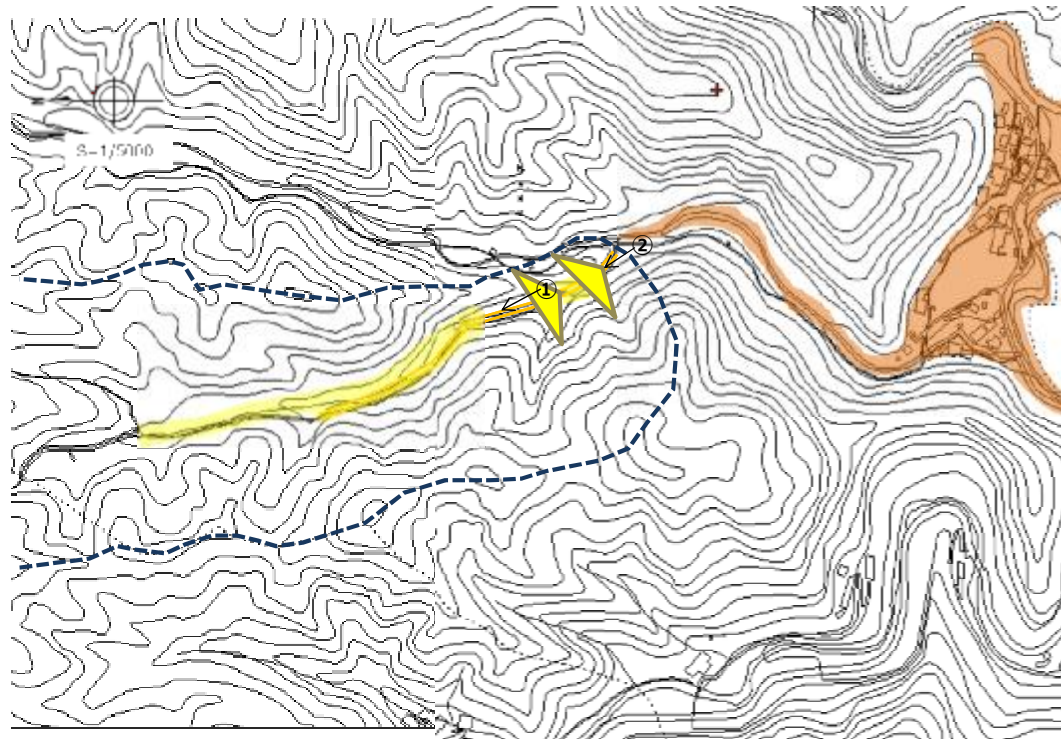


写真② 溪流内の危険木を除去した状況

平成29年度 危険渓流の流木対策事業実績 (4) 高槻市出灰地区

(1)-2

【H30年度の計画地の状況】



写真① 溪岸侵食を受けた溪流と堆積する土石



写真② 溪岸侵食を受けた溪流と倒木の状況

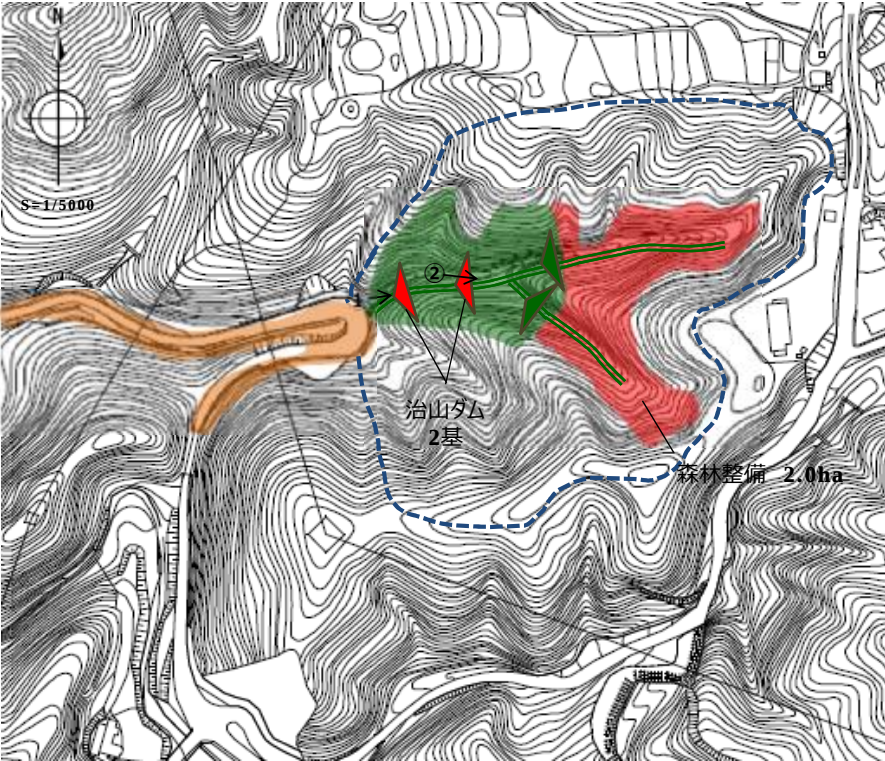
内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム (基)	2	0	2回の入札不調 (H29.11.9、H29.12.20) により、翌年度に実施予定となった
森林整備 (ha)	1.0	0	
流木対策 (m)	300	0	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 治山ダム (H30)
- 流木対策 (H30)
- 森林整備 (H30)

きさいち
平成29年度 危険溪流の流木対策事業（5）交野市私市地区

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	2.0	2.0	
流木対策（m）	H28完了	H28完了	

【凡例】	▲ 治山ダム（H28）	— 流木対策（H28）
● 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
— 保全対象	■ 森林整備（H28）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H29）	

【H29年度の施工状況】



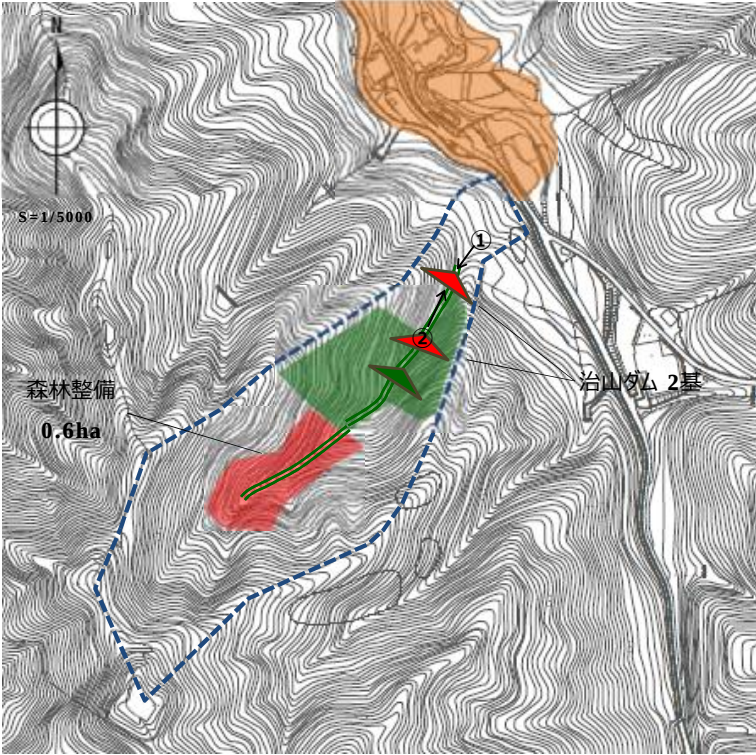
写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 治山ダム（コンクリート）の設置状況

平成29年度 危険溪流の流木対策事業（6）四條畷市南野地区

【平面図】



【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況

内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	1.2	0.6	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
流木対策（m）	H28完了	H28完了	

【凡例】	▲ 治山ダム（H28）	— 流木対策（H28）
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
■ 保全対象	■ 森林整備（H28）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H29）	

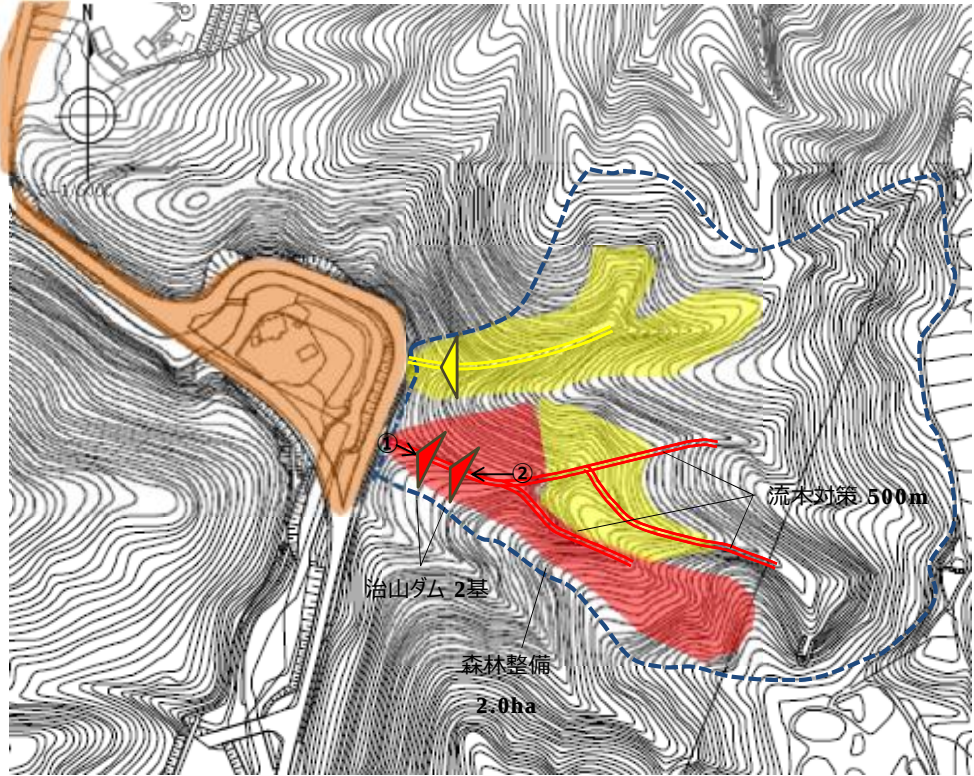


写真② 溪流内の危険木を除去した状況（渓治いは強度伐採）

きさいち

平成29年度 危険溪流の流木対策事業（7）交野市私市北地区

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	流木対策：台風の影響もあり、詳細な調査・測量した結果、整備区域が増加
森林整備（ha）	2.0	2.0	
流木対策（m）	450	500	

【凡例】	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H30）	— 流木対策（H30）
■ 保全対象	■ 森林整備（H29）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H30）	

【H29年度の施工状況】



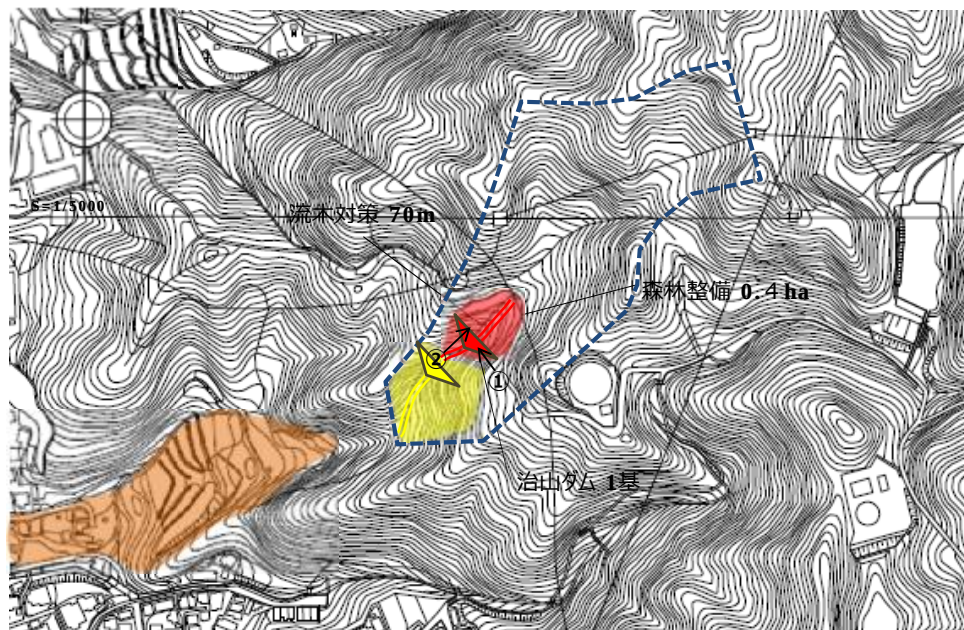
写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 溪流内の危険木を除去した状況（溪流沿いは強度伐採）

平成29年度 危険渓流の流木対策事業実績（8）大東市寺川地区

【平面図】



【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 治山ダム（鋼製）の設置状況

内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	1	1	森林整備・流木対策：地籍混乱地で一部の所有者が特定できず整備区域が減少（引き続き所有者特定に努める）
森林整備（ha）	0.8	0.4	
流木対策（m）	150	70	

【凡例】

山地災害危険地区

保全対象

①→ 写真撮影位置

治山ダム（H29）

治山ダム（H30）

森林整備（H29）

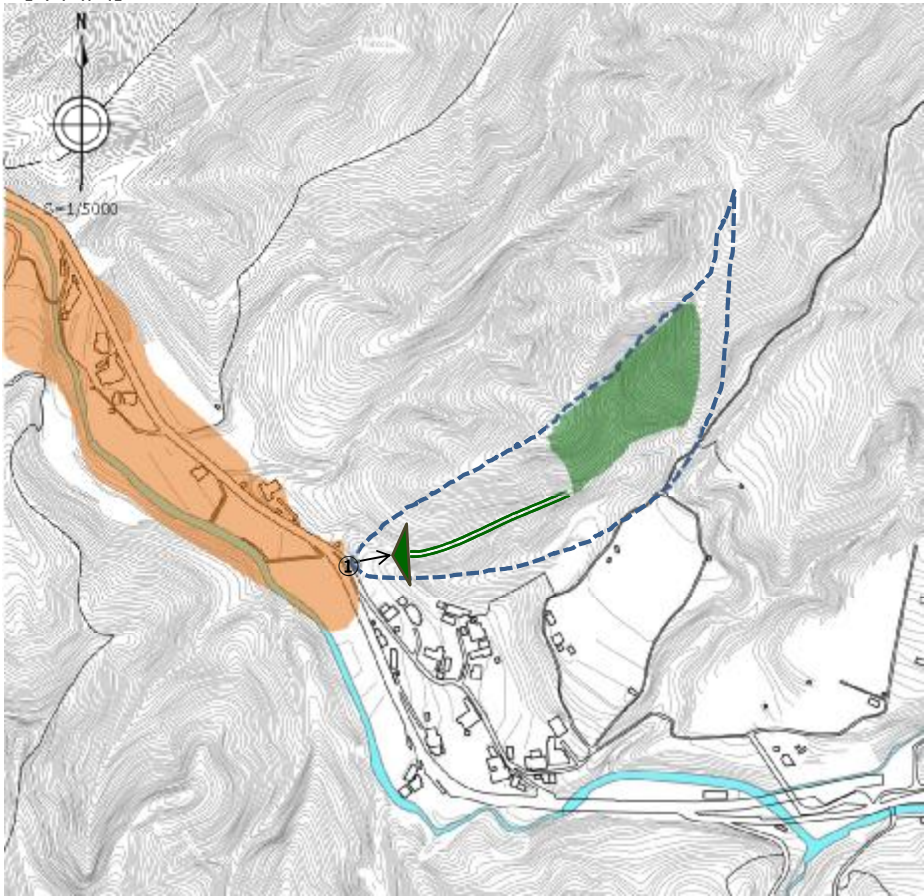
森林整備（H30）

流木対策（H29）

流木対策（H30）

平成29年度 危険渓流の流木対策事業実績（9）千早赤阪村水分・河南町青崩地区

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	0	0	森林整備：詳細な調査した結果、整備不要と判断した
森林整備（ha）	1.0	0	
流木対策（m）	0	0	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 治山ダム（H28）
- 流木対策（H28）
- 保全対象
- 森林整備（H28）
- ①→ 写真撮影位置

【H28年度工事の完成状況】

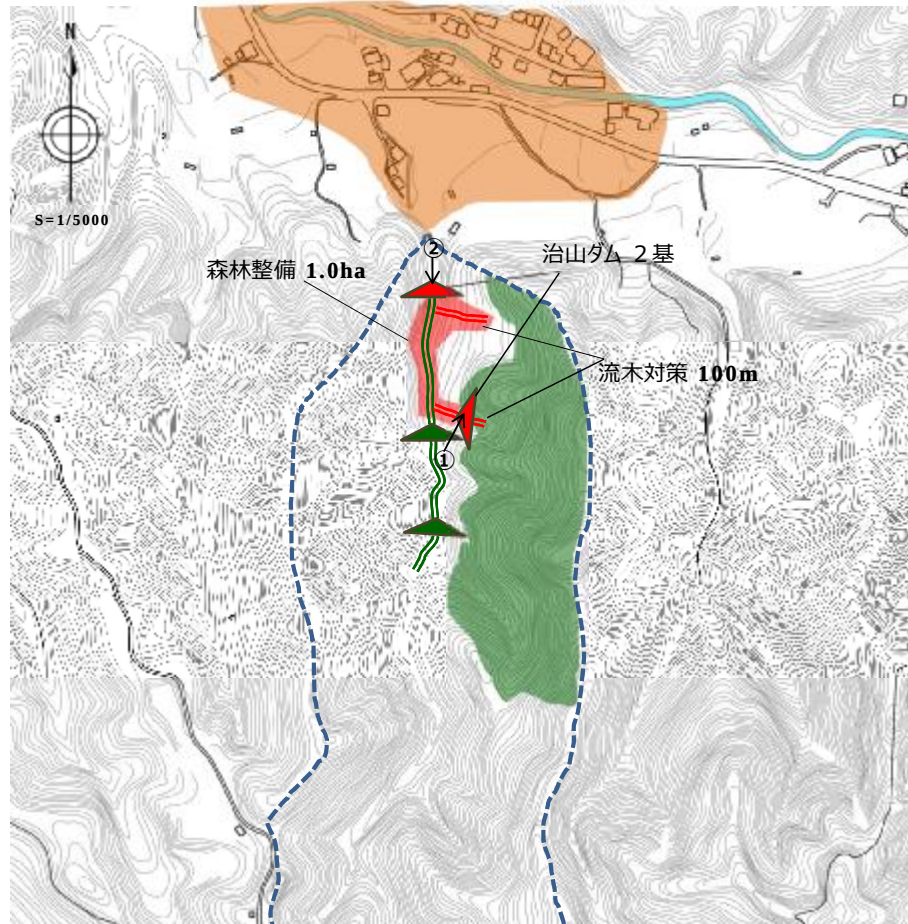


写真① 治山ダム及び流路工（コンクリート）の竣工時の状況



写真① 治山ダム及び流路工（コンクリート）の現況

【平面図】 平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績 (10) 千早赤阪村水分中代地区



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム (基)	1	2	治山ダム : H29年10月の台風被害により新たな崩壊が発生したことから治山ダムを1基追加した
森林整備 (ha)	1.0	1.0	
流木対策 (m)	100	100	

【凡例】	▲ 治山ダム (H28)	— 流木対策 (H28)
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム (H29)	— 流木対策 (H29)
■ 保全対象	■ 森林整備 (H28)	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備 (H29)	

【H29年度の施工状況】



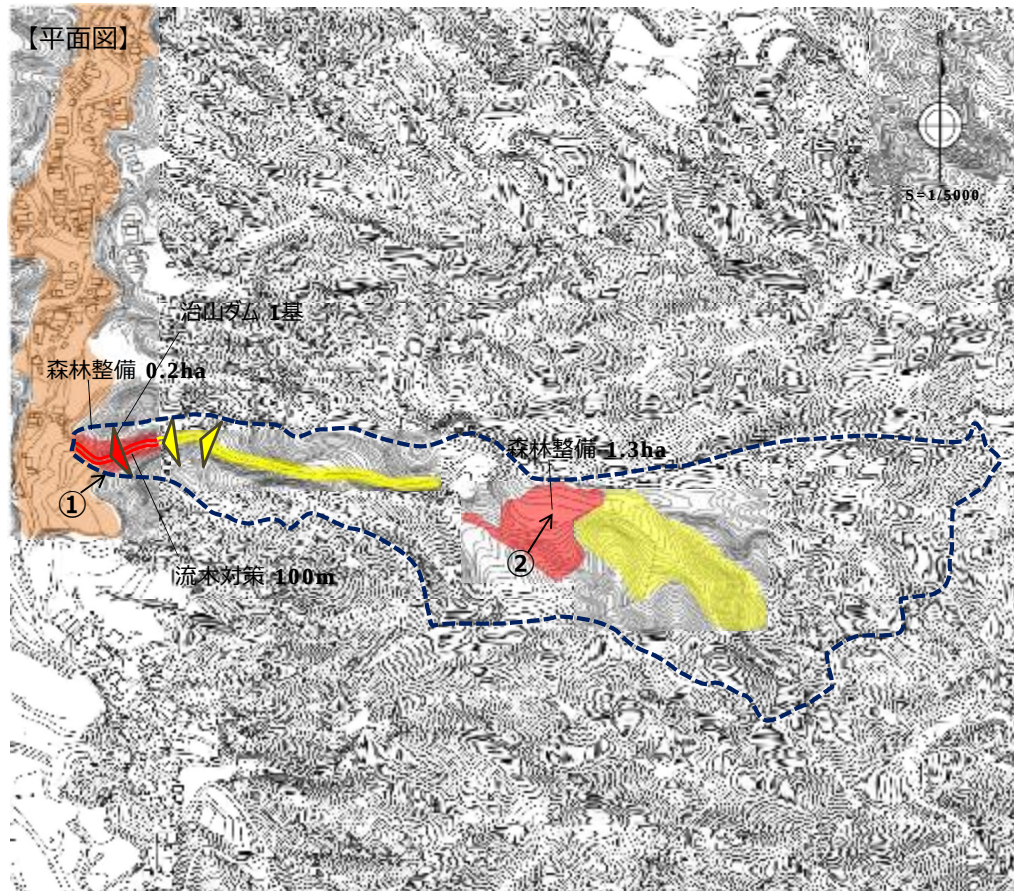
写真① 治山ダム (コンクリート) の設置状況



写真② 治山ダム (コンクリート) の設置状況

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績（11）河南町下河内地区

(1)-2



【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 森林整備（間伐）の完了状況

内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	1	1	森林整備・流木対策：所有者確認に時間を要した結果、翌年度に実施予定となり整備区域が減少
森林整備（ha）	6.0	1.5	
流木対策（m）	350	100	

【凡例】	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H30）	— 流木対策（H30）
■ 保全対象	■ 森林整備（H29）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H30）	

【H29年度の施工状況】

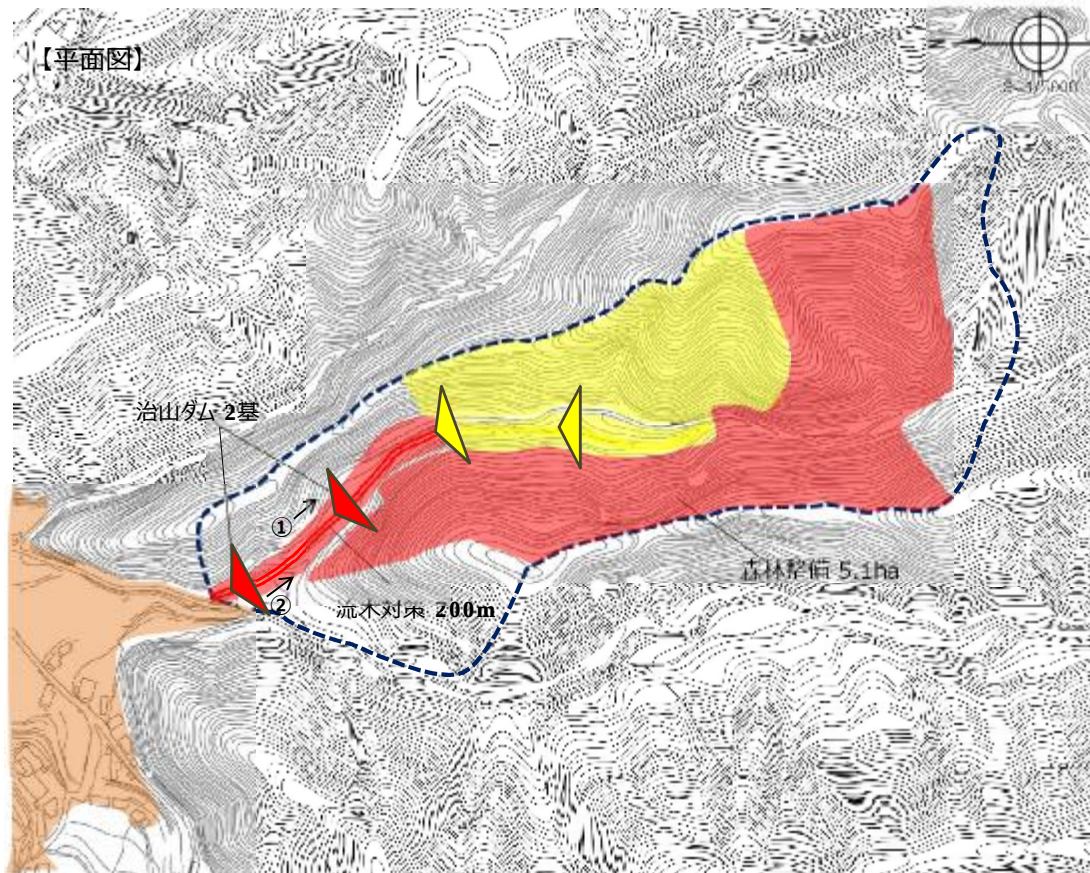


写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 溪流内の危険木を除去した状況（溪流沿いは強度伐採）

南河内農と緑の総合事務所



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：所有者の要望により前倒しで実施したため、整備区域が増加 流木対策：所有者確認に時間を要した結果、翌年度に実施予定となり整備区域が減少
森林整備（ha）	2.0	5.1	
流木対策（m）	350	200	

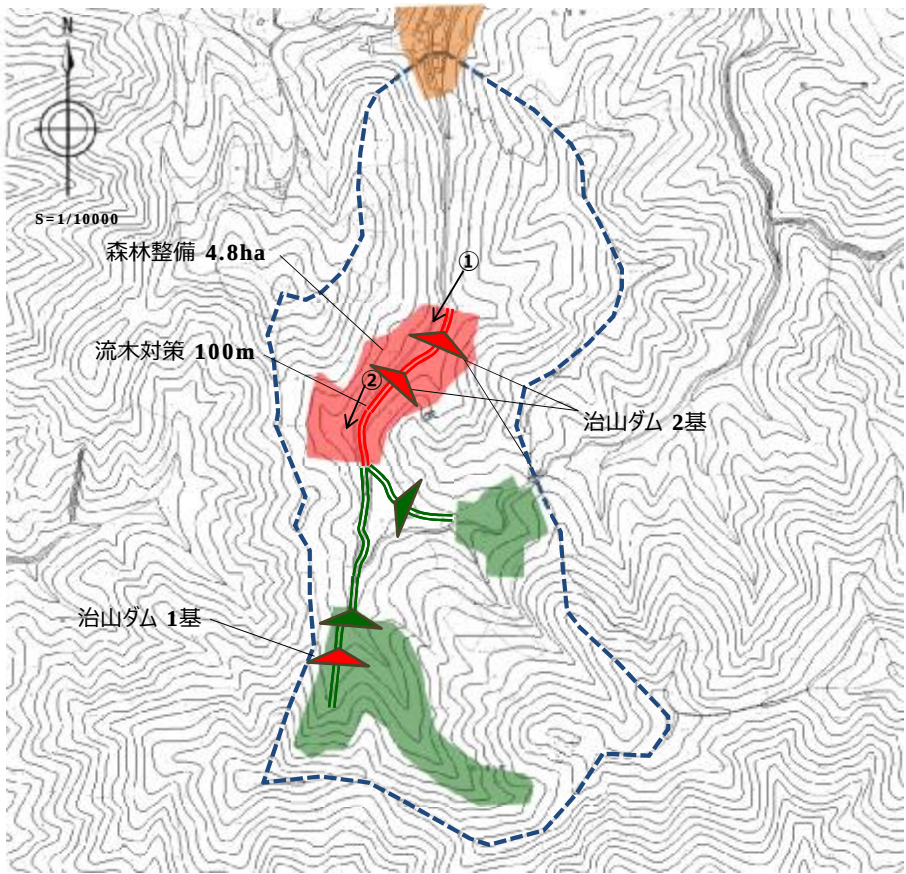
【凡例】	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
⬢ 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H30）	— 流木対策（H30）
■ 保全対象	■ 森林整備（H29）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H30）	

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績（13）和泉市仏並町地区

ぶつなみちょう

(1)－2

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	3	3	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が増加
森林整備（ha）	4.0	4.8	
流木対策（m）	100	100	

【凡例】	▲ 治山ダム（H28）	— 流木対策（H28）
--- 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
■ 保全対象	■ 森林整備（H28）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H29）	

【H29年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



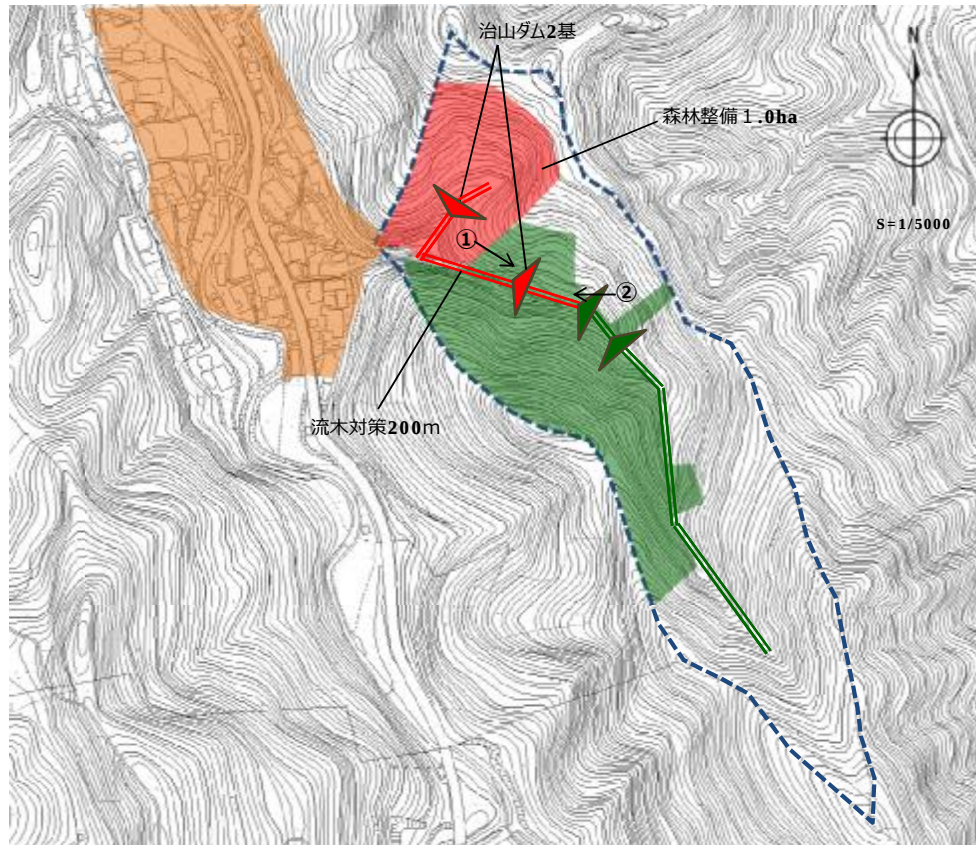
写真② 森林整備（間伐）の完了状況

本数間伐率42.9%（2,100本/ha→900本/ha）で実施

伐採木は、降雨等による土砂流出を防ぐために棚積みになっている。

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績 (14) 岸和田市相川町地区

【平面図】



【H29年度の施工状況】



撮影日：H30.4.19

写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



撮影日：H30.4.19

写真② 溪流内の危険木を除去した状況

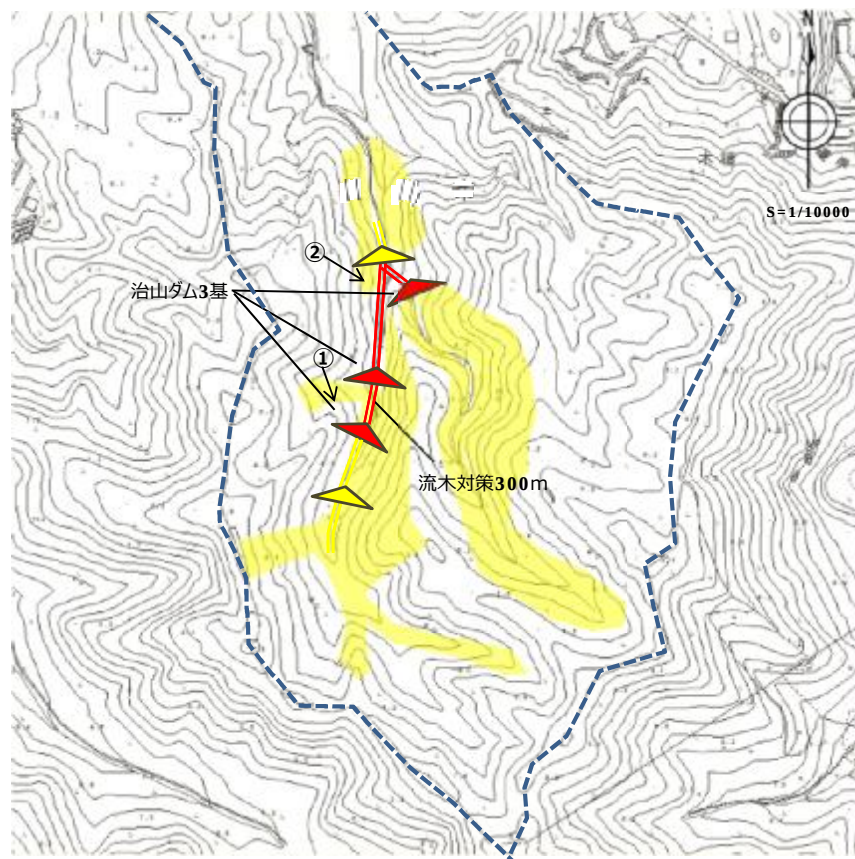
内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	1.0	1.0	
流木対策（m）	200	200	

【凡例】	▲ 治山ダム（H28）	— 流木対策（H28）
⋯ 山地災害危険地区	▲ 治山ダム（H29）	— 流木対策（H29）
■ 保全対象	■ 森林整備（H28）	
①→ 写真撮影位置	■ 森林整備（H29）	

こつみ

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績（15）貝塚市木積地区

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	2	3	治山ダム：詳細な調査・測量した結果、設置数が増加 森林整備：地籍混乱地で所有者確認に時間を要した結果、翌年度に実施予定となり整備区域が減少
森林整備（ha）	5.0	0	
流木対策（m）	300	300	

【凡例】	治山ダム（H29）	流木対策（H29）
山地災害危険地区	治山ダム（H30）	流木対策（H30）
保全対象	森林整備（H29）	
①→ 写真撮影位置	森林整備（H30）	

【H29年度の施工状況】



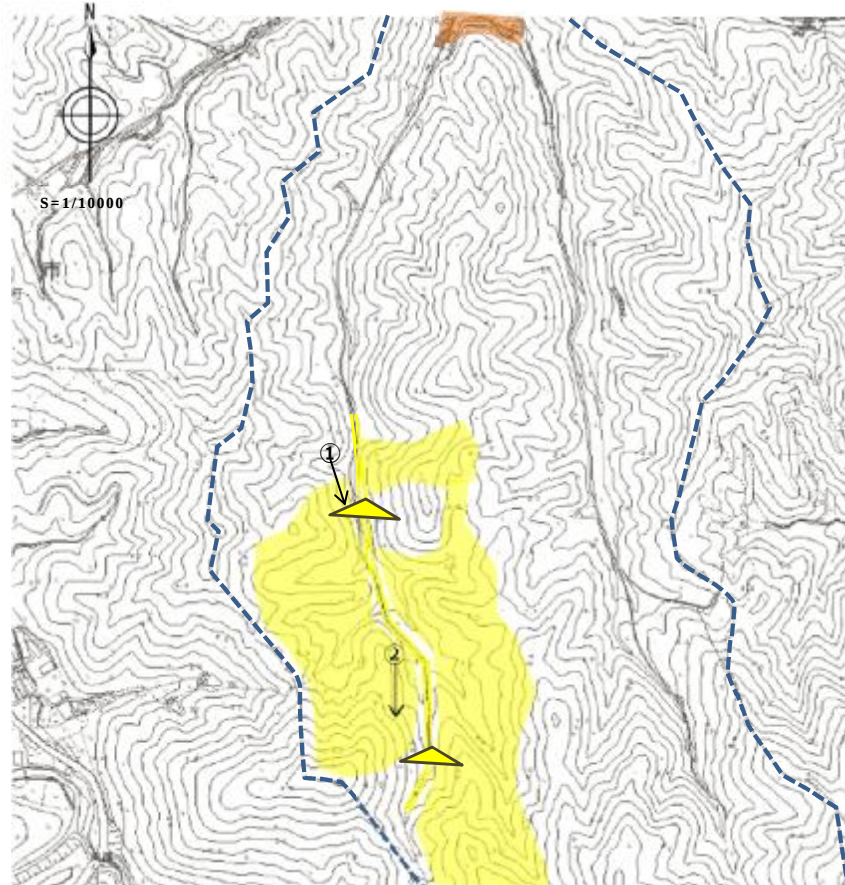
写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 治山ダム（コンクリート）の設置状況

平成29年度 危険溪流の流木対策事業実績（16）和泉市春木川町

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
治山ダム（基）	—	—	森林整備・流木対策：地籍積混乱地で所有者確認に時間を要した結果、翌年度に実施予定となり整備区域が減少
森林整備（ha）	4.0	0	
流木対策（m）	300	0	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置

- 治山ダム（H29）
- 治山ダム（H30）
- 森林整備（H29）
- 森林整備（H30）

- 流木対策（H29）
- 流木対策（H30）

【H30年度の計画地の状況】



撮影日：H30.2.16

写真① 治山ダム（鋼製）の設置計画地



撮影日：H30.3.7

写真② 森林整備（間伐）の実施予定地

平成29年度の防災教室等の実施状況

【防災教室実施一覧表】

	箇所	開催日	アンケート実施※
(1)	池田市伏尾町	H30.6.11	○
(2)	豊能町吉川	H30.4.23	○
(3)	能勢町宿野	H29.9.12	
(4)	高槻市出灰	H30.1.16	
(5)	交野市私市	H30.5.12	○
(6)	四條畷市南野	H30.3.28	○
(7)	交野市私市北	H29.4.13	
(8)	大東市寺川	H29.4.7	
(9)	千早赤阪村水分・河南町青崩	H30.6.3	○
(10)	千早赤阪村水分中代	H30.8.18	－
(11)	河南町下河内	H29.10.12	
(12)	河内長野市天見	H29.9.11	
(13)	和泉市仏並町	H30.7.22	○
(14)	岸和田市相川町	H29.5.22	○
(15)	貝塚市木積	H29.8.8	
(16)	和泉市春木川町	H29.9.27	

※ 平成28年度着手箇所において、アンケートを実施（平成30年度に工事を繰り越した(10)千早赤阪村水分中代を除く）。



防災教室の様子（豊能町吉川）



防災教室の様子（交野市私市）



防災教室の様子（千早赤阪村水分青崩）



防災教室の様子（岸和田市相川町）



森林危険情報マップ



公民館での掲示（交野市私市）

平成29年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林整備グループ
連絡先	(06) 6210-9559

1 事業概要

事業実施年度	平成29年度
評価年月日	平成30年7月9日
① 概要等	① 施策区分 自然災害から府民の暮らしを守る取組み
事業名	危険渓流の流水対策事業
事業概要	流水対策・土石流発生源対策
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をふさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	H31～	合計
	当初計画(千円)	298,000	522,000	546,000	640,632	2,006,632
	現計画(千円)	251,274	522,000	546,000	687,358	2,006,632
	執行額(千円)	251,274	454,695	—	—	—
④ 事業の内容	事業対象区域:山地災害危険地区「崩壊・土砂流出危険地区」1、保安林外(危険度Aラフン・保全対象20戸以上、治山事業の未着手地域) 事業箇所数:30箇所 事業内容: ①ハード対策 土石流発生を抑止する治山ダムを整備 流水となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出 防災機能を強化する荒廃森林の整備(強度間伐等) ②ソフト対策 防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成 事業の効果検証等					

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
土石流対策 指標 検証方法	治山ダム 24基	24基		
⑤ 実績検証の内容	指標 検証方法	40ha	22.7ha	□ 妥当である ■ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない
減災対策 指標 検証方法	事業の完成検査 渓流延長 事業の完成検査	3,000m	2,170m	
減災対策 指標 検証方法	森林危険情報マップ 成果品(1年目:商業、2年目:マップ完成)	(1年目) 8箇所 (2年目) 8箇所	(1年目) 8箇所 (2年目) 8箇所	(※詳細については箇所別個票参照)
検証方法	実施回数	16回	16回	

(2) 事業効果

指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
土石流対策 指標 検証方法	土石流の発生の抑制			
⑥ 効果検証の内容	指標 検証方法	流水の発生の抑制		
流水対策 指標 検証方法	対照区との流水発生の比較調査			
指標 検証方法	林床被覆率の増加			
指標 検証方法	対照区との林床被覆率の比較調査			
指標 検証方法	土壌の浸透能の向上			
指標 検証方法	対照区との土壌浸透能の比較調査			
指標 検証方法	表面侵食の抑制			
指標 検証方法	対照区との表面侵食量の比較調査			
指標 検証方法	減災意識の向上(対象者の8割)			
検証方法	減災対策を行った地域住民へのアンケート			

(3) 自己評価(総合)

総合評価	理由
⑦ 自己評価 □ 評価できる □ 概ね評価できる □ あまり評価できない □ 評価できない	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
	○事業実績は、概ね妥当である。 ○大阪府下の森林の所有状態は、地籍混乱・地が非常に多いため、市町村との連携も深め、適切に対処していくことを要望した。

平成30年度 危険渓流の流木対策事業の実施について

【全体計画】

	新規着手	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
平成28年度着手	8箇所	8	8			
平成29年度着手	8箇所		8	8		
平成30年度着手	8箇所			8	8	
平成31年度着手	6箇所				6	6
合 計	30箇所	8箇所	16箇所	16箇所	14箇所	6箇所

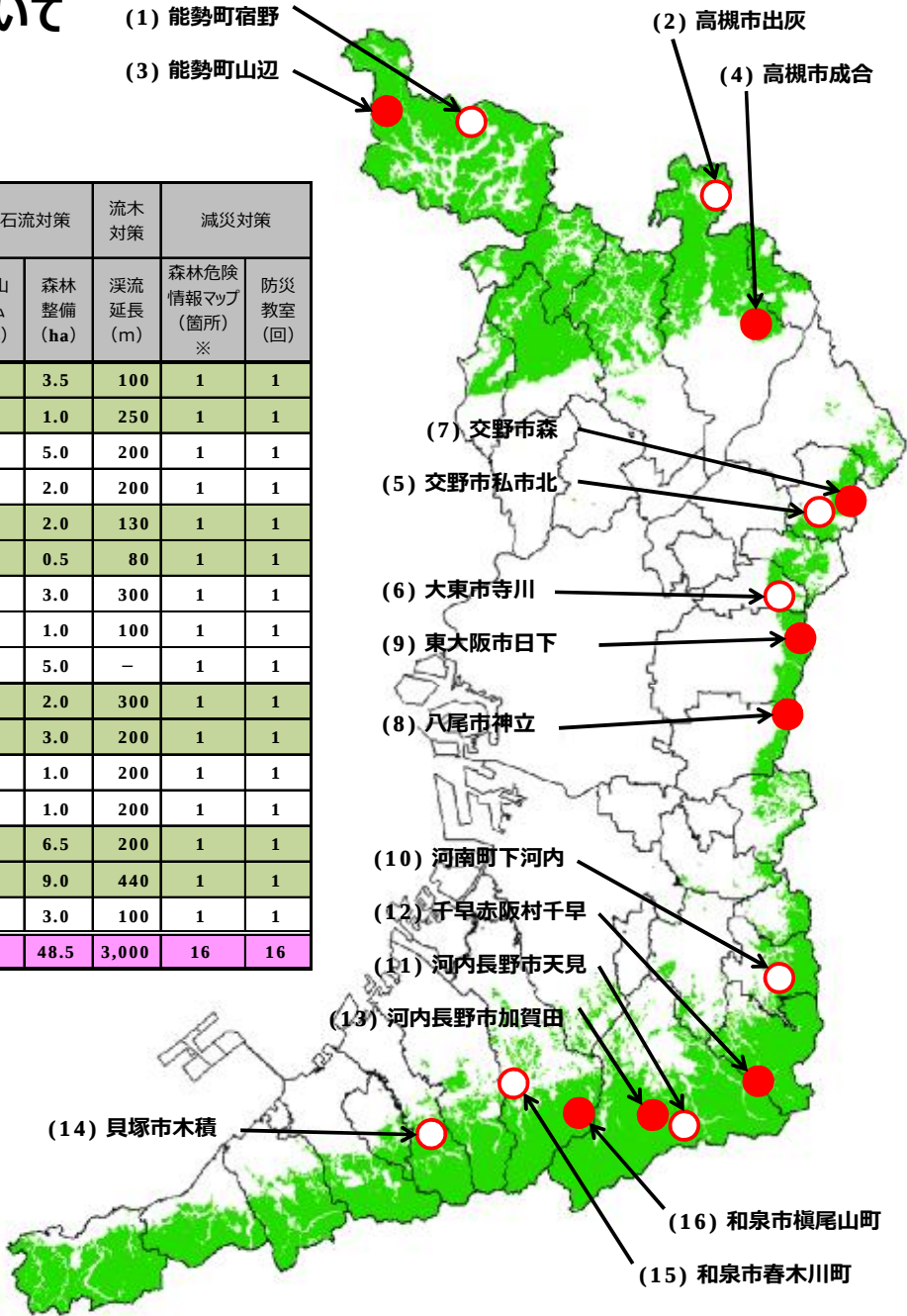
◆年度別実施予定箇所

年度	箇 所	箇所数
H28～29	豊能町吉川 池田市伏尾町 交野市私市 四條畷市南野 千早赤阪村水分・河南町青嶺 千早赤阪村水分中代 和泉市仏並町 岸和田市榎川町	8箇所
H29～30	能勢町宿野 高槻市出灰 交野市私市北 大東市寺川 河南町下河内 河内長野市天見 貝塚市木積 和泉市春木川町	8箇所
H30～31	能勢町山辺 高槻市成合 交野市森 東大阪市日下 八尾市神立 千早赤阪村千早 河内長野市加賀田 和泉市槇尾山町	8箇所
H31～32	高槻市原 高槻市原 東大阪市上石切 八尾市黒谷 河内長野市加賀田 千早赤阪村千早	6箇所
計		30箇所

【H30年度の計画数量】

箇所名	新規・継続	土石流対策		流木対策	減災対策	
		治山ダム(基)	森林整備(ha)	溪流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)
(1) 能勢町宿野	継続	1	3.5	100	1	1
(2) 高槻市出灰	継続	2	1.0	250	1	1
(3) 能勢町山辺	新規	1	5.0	200	1	1
(4) 高槻市成合	新規	2	2.0	200	1	1
(5) 交野市私市北	継続	1	2.0	130	1	1
(6) 大東市寺川	継続	1	0.5	80	1	1
(7) 交野市森	新規	2	3.0	300	1	1
(8) 八尾市神立	新規	1	1.0	100	1	1
(9) 東大阪市日下	新規	—	5.0	—	1	1
(10) 河南町下河内	継続	2	2.0	300	1	1
(11) 河内長野市天見	継続	2	3.0	200	1	1
(12) 千早赤阪村千早	新規	2	1.0	200	1	1
(13) 河内長野市加賀田	新規	2	1.0	200	1	1
(14) 貝塚市木積	継続	2	6.5	200	1	1
(15) 和泉市春木川町	継続	2	9.0	440	1	1
(16) 和泉市槇尾山町	新規	1	3.0	100	1	1
16箇所(新規8箇所、継続8箇所)		24	48.5	3,000	16	16

※1年目：原案、2年目：マップ完成



(1) 自然災害から府民の暮らしを守る取組み

② 主要道路沿いにおける倒木対策事業

【目的】

ナラ・カシ類などの広葉樹林の高齢化に伴い病虫害による枯死（ナラ枯れ）や、放置竹林が増加しており、枯損木等による国道府道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。

【事業概要】

- 事業対象区域：山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」
（府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林）
- 事業箇所数：ナラ枯れ等対策^(注) 約50箇所
放置竹林対策 約40箇所
- 事業内容：①ナラ枯れ等対策
ナラ枯れ等の病虫害被害が予想される高齢木の予防伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等
- ②放置竹林対策
竹伐採、草刈、竹拡大防止柵の設置、広葉樹の苗木植栽、作業用歩道の整備等
- 事業の工程：初年度～
現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）
森林所有者、市町村、地元自治会、道路管理者等との調整
森林所有者と協定書を締結し事業実施
※協定書により、10年間の森林の維持



被害を受け根元に木くずが散乱した木



ナラノガキイムシ

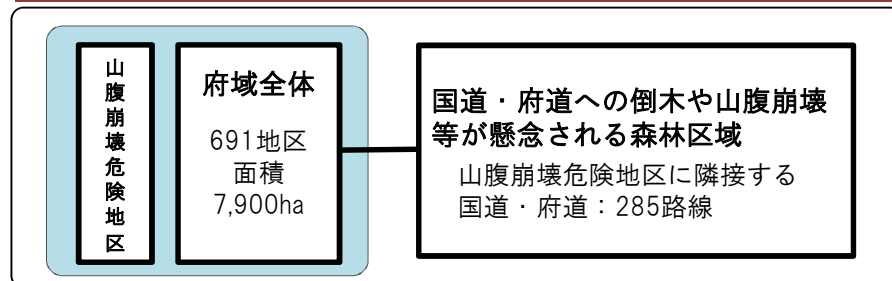
（注）ナラ枯れとは、大量のカシノナガキイムシがナラ・カシ類の幹に穴をあけて入り込み、体に付着した病原菌（ナラ菌）を多量に樹木内に持ち込むことにより、水の通り道が塞がれ、枯れていく病気。枯れる時期は7月から9月が多い。府内においても初めて平成21年度に高槻市、茨木市、島本町で被害が発生し、以後被害は増加しながら南下している。

(単位：千円)

【事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		H31～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	90	1,016,000	17	255,000	36	291,000	41	276,000	62	194,000
(新規着手件数)			(17)		(28)		(25)		(20)	

事業対象区域の選定方法



事業実施

森林病虫害の拡大
放置竹林の拡大



(高槻市)

※H31までに着手

実施箇所

■事業対象区域

- 府県間を連絡する交通量の多い国道・府道に限定
対象：20路線

自然災害から府民の暮らしを守る 主要道路沿いにおける倒木対策

ナラ枯れの状況



(交野市)



被害を受け木くずが根元に散乱した木

放置竹林の状況

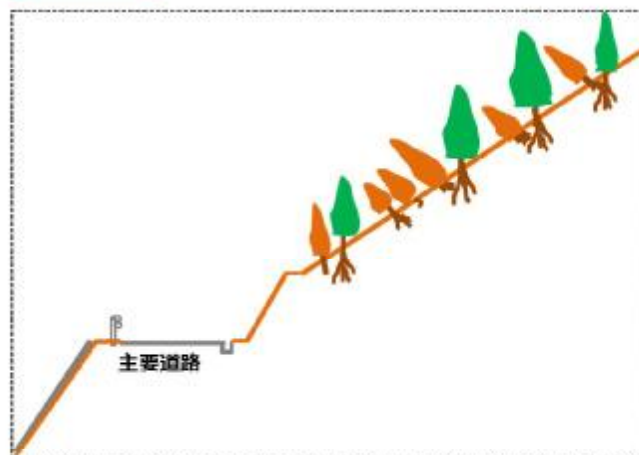


(茨木市)



放置竹林の拡大により侵入を受ける森林

整備前



整備後



整備内容

【ナラ枯れ】

- ・被害を受けやすい高齢木の予防伐採
- ・被害を受け倒木のおそれのある枯死木の処理
- ・広葉樹の大苗木植栽等

【放置竹林】

- ・竹の拡大防止のため森林に侵入した竹の伐採
- ・広葉樹の大苗木植栽等
- ※竹の侵入による樹木枯死の未然防止

整備後の将来イメージ



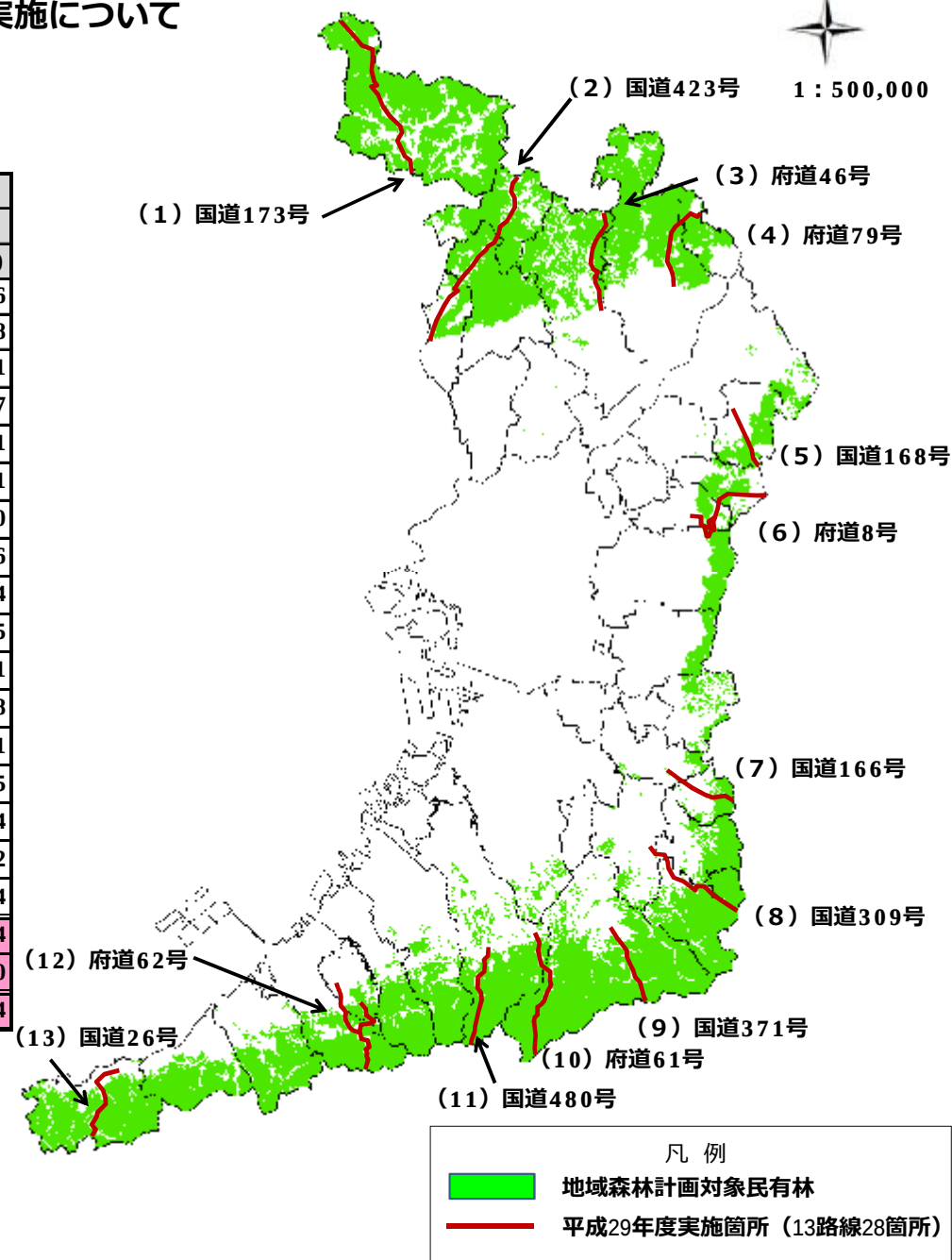
(高槻市)

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業の実施について

【②主要道路沿いにおける倒木対策事業】

路線名	地区名	区分	平成29年度事業			
			計画		実績	
			箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
(1) 国道173号	能勢町天王	ナラ枯等	2	5.0	4	7.6
(2) 国道423号●	豊能町余野	ナラ枯等	1	5.0	1	0.8
(3) 府道46号●	茨木市車作	ナラ枯等	2	15.0	1	8.1
(4) 府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	1	0.5	2	0.7
	高槻市川久保	ナラ枯等	1	0.5	2	1.1
		放置竹林	2	0.5	1	0.1
(5) 国道168号	交野市私市	ナラ枯等	2	2.8	3	2.0
(6) 府道8号	四條畷市逢阪	ナラ枯等	1	0.6	1	0.6
(7) 国道166号	太子町山田	放置竹林	2(1)	0.3	2(1)	0.4
(8) 国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	2(1)	0.4	2(1)	0.5
(9) 国道371号	河内長野市天見	放置竹林	3	0.4	1	0.1
(10) 府道61号	河内長野市滝畑	放置竹林	2(1)	0.6	2(1)	0.8
(11) 国道480号	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.1	1(1)	0.1
	和泉市父鬼	ナラ枯等	2	2.0	1	1.5
(12) 府道62号	泉佐野市土丸	ナラ枯等	1	2.0	1	0.4
	熊取町久保	ナラ枯等	1	5.0	1	6.2
(13) 国道26号	岬町孝子	ナラ枯等	2	3.0	2	7.4
計 13路線 (うち、●は新規2路線)		ナラ枯等	16	41.4	19	36.4
		放置竹林	12(4)	2.3	9(4)	2.0
		合計	28(4)	43.7	28(4)	38.4

()は前年度からの継続箇所の内数



平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

てんのう

(1) 国道173号 (能勢町天王地区)

【平面図】

【施行前】



【施行後】



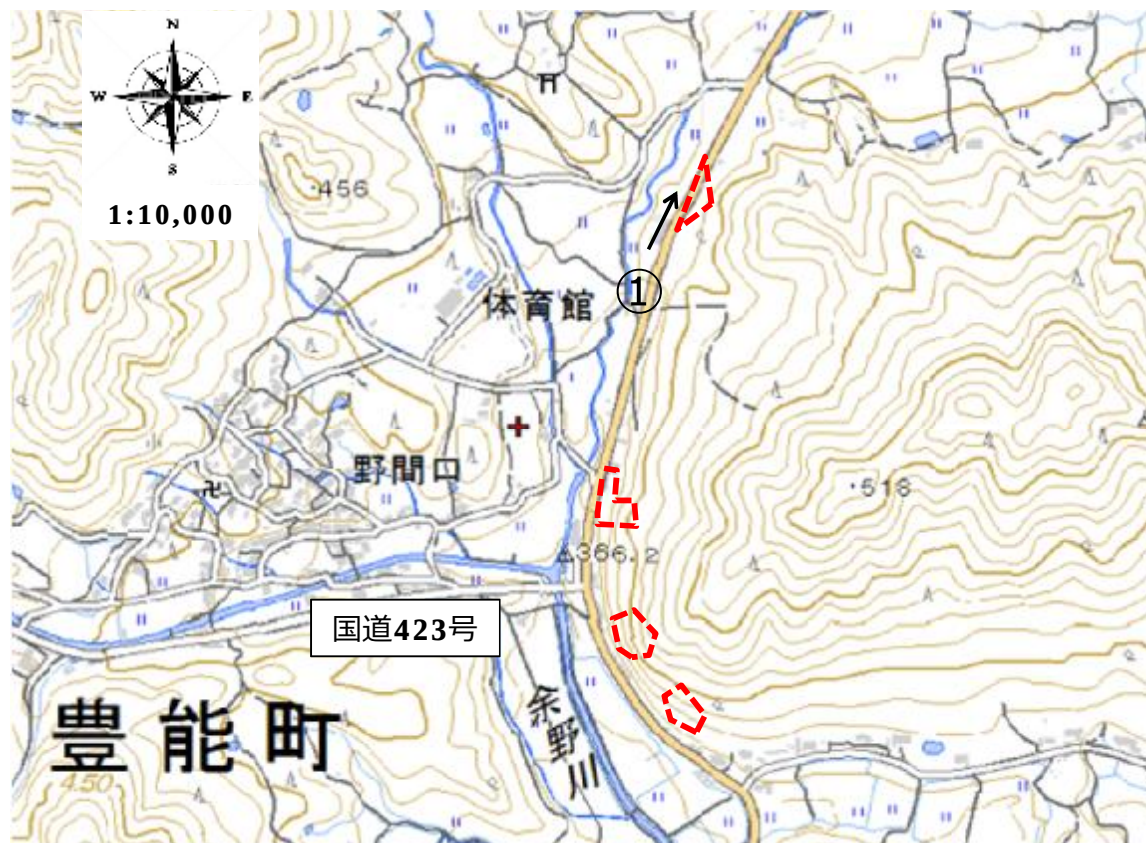
【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	2	4	詳細な調査・測量を行った結果、ナラ枯れ被害が確認されたため対策が必要な面積が増加
整備面積(ナラ枯等) (ha)	5.0	7.59	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

よの (2) 国道423号 (豊能町余野地区)

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	1	1	地権者との協議に時間がかかっており、対策面積が減少。次年度以降に実施予定。
整備面積(ナラ枯等) (ha)	5.0	0.83	

【施行前】



【施行後】

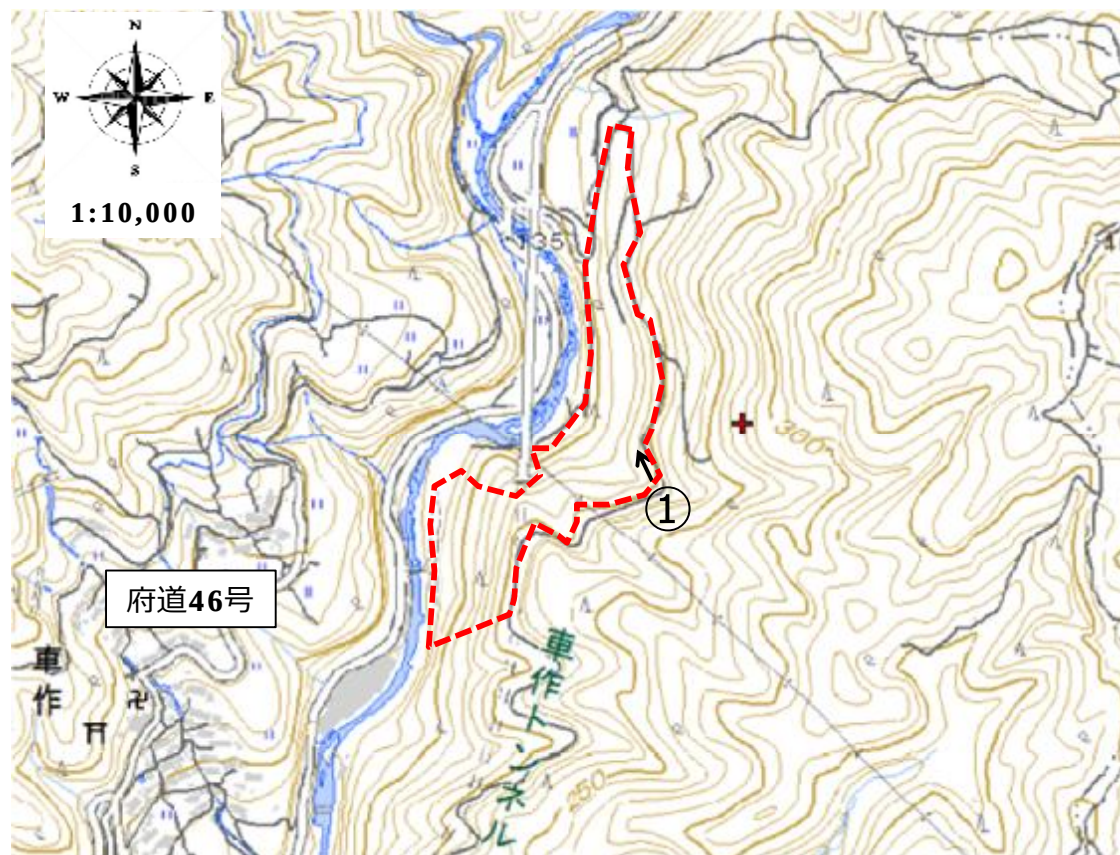


平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

くるまづくり

(3) 府道46号 (茨木市車作地区)

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	2	1	地権者との協議に時間がかかっており、対策面積が減少。次年度以降に実施予定。
整備面積(ナラ枯等) (ha)	15.0	8.06	

【施行前】



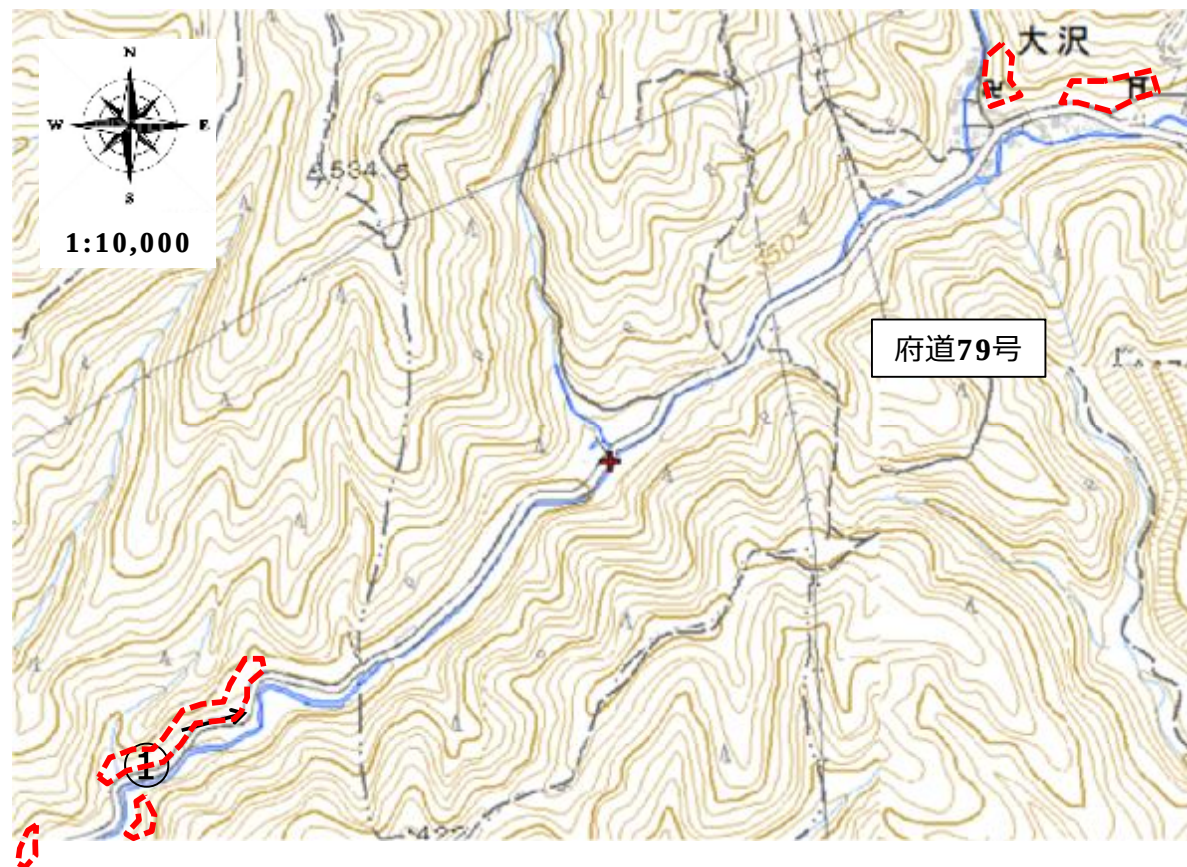
【施行後】



平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(4) 府道79号 (島本町大沢地区ほか)

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

【施行前】



【施行後】



内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	3	5	詳細な調査・測量を行った結果、ナラ枯れ被害が確認されたため対策が必要な面積が増加。竹林については地権者との協議に時間がかかっており、対策面積が減少。次年度以降に実施予定。
整備面積(ナラ枯等) (ha)	1.0	1.83	
整備面積(放置竹林) (ha)	0.5	0.08	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

きさいち

【平面図】



【凡例】 H29事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	2	3	詳細な調査・測量を行った結果、対策が必要な箇所が増加。安全面を考慮し、整備面積は縮小（縮小分はH30に実施）
整備面積(ナラ枯等) (ha)	2.8	2.0	

(5) 国道168号 (交野市私市地区)

【施行前】



【施行後】



中部農と緑の総合事務所

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

おうさか

(6) 府道8号（四條畷市逢阪地区）

【平面図】



【凡例】 ○ H29事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数（箇所）	1	1	
整備面積(ナラ枯等) (ha)	0.6	0.6	

【施行前】



【施行後】



平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(7) 国道166号 (太子町山田地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	2	2	詳細な調査・測量を行った結果、対策が必要な面積が増加。2箇所のうち1箇所は、H28実施箇所の下刈り。
整備面積(放置竹林) (ha)	0.3	0.4	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

すいぶん

(8) 国道309号（千早赤阪村水分地区）

【平面図】



【施行前】



撮影日：H29.10.23

【施行後】



撮影日：H30.3.15

【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

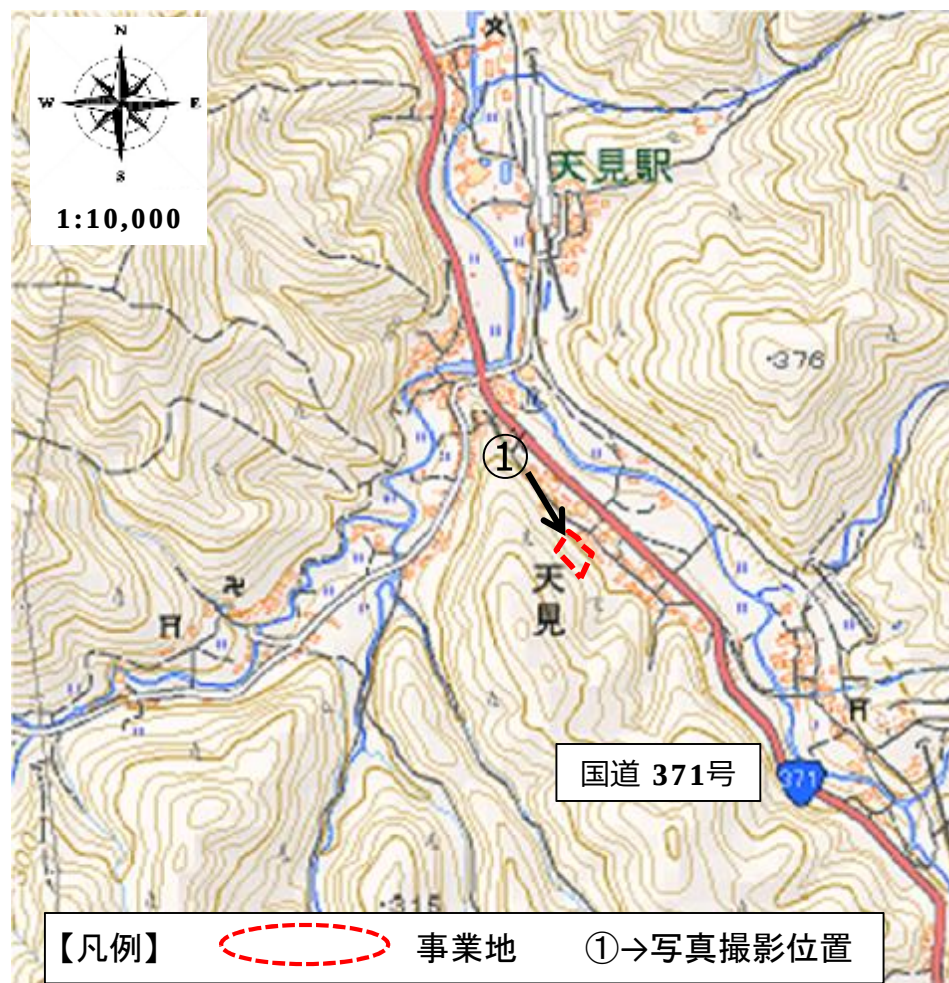
内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数（箇所）	2	2	詳細な調査・測量を行った結果、対策が必要な面積が増加。2箇所のうち1箇所は、H28実施箇所の下刈り。
整備面積(放置竹林) (ha)	0.4	0.5	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

あまみ

(9) 国道371号（河内長野市天見地区）

【平面図】



【施行前】



【施行後】



内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数（箇所）	3	1	地権者との協議に時間がかかっており、対策面積が減少。次年度以降に実施予定。 H28実施箇所は地元管理に移行。
整備面積（放置竹林）（ha）	0.4	0.1	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(10) 府道61号 (河内長野市滝畑地区)

【平面図】



内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	2	2	詳細な調査・測量を行った結果、対策が必要な面積が増加。 2箇所のうち1箇所は、H28実施箇所の下刈り。
整備面積(放置竹林) (ha)	0.6	0.8	

【施行前】



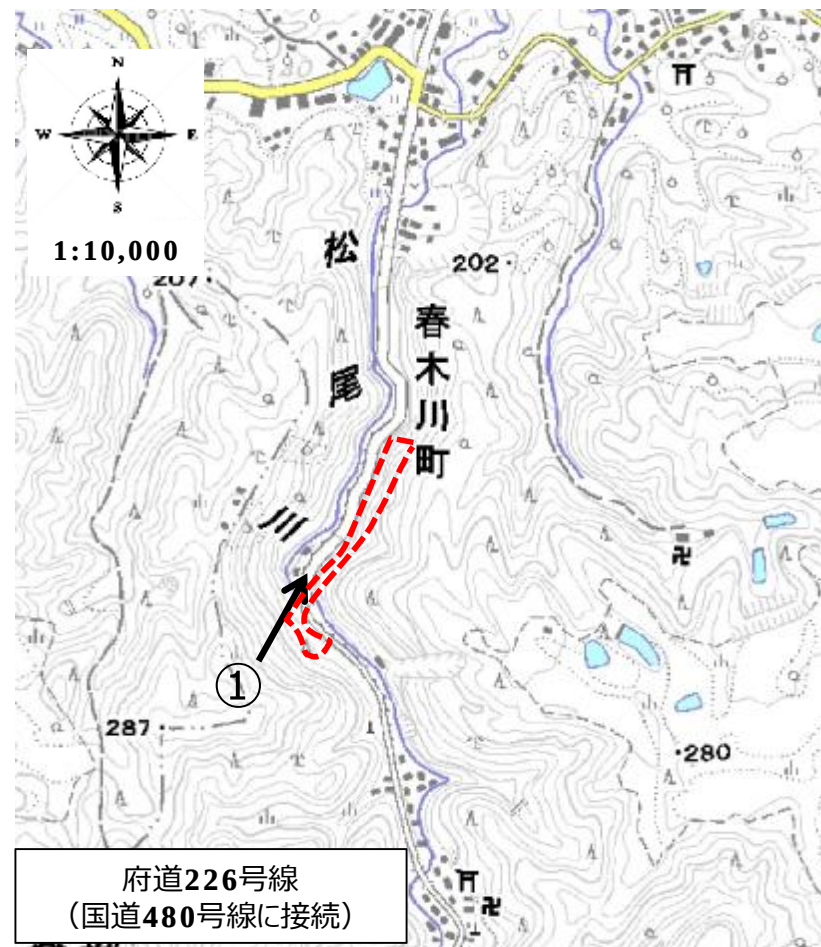
【施行後】



平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(11) 国道480号（和泉市春木川町地区）

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	1	1	
整備面積(放置竹林) (ha)	0.1	0.1	

【施行前】



【施行後】

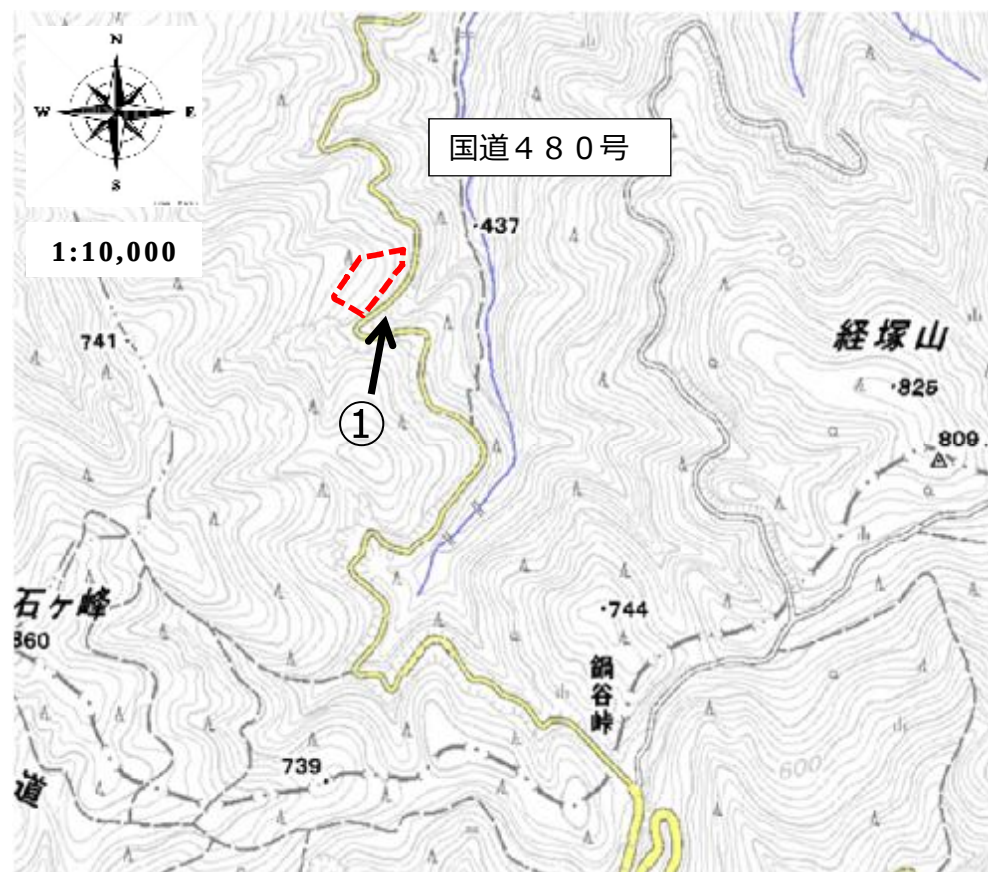


平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

ちちおに

(11) 国道480号 (和泉市父鬼地区)

【平面図】



【施行前】



撮影日：H29.9.15

【施行後】



撮影日：H30.3.27

【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

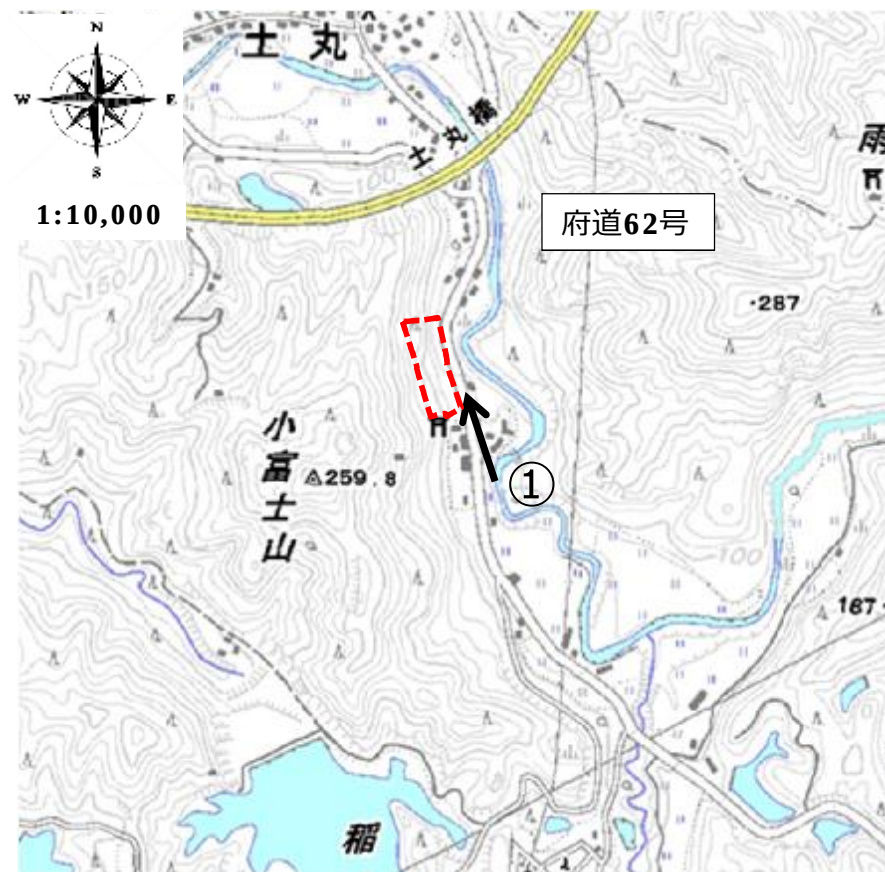
内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	1	1	詳細な調査・測量を行った結果、面積が減少
整備面積(ナラ枯等) (ha)	2.0	1.5	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

つちまる

(12) 府道62号（泉佐野市土丸地区）

【平面図】



【凡例】



事業地

①→写真撮影位置

内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数（箇所）	1	1	地権者との協議に時間がかかっており、対策面積が減少。次年度以降に実施予定。
整備面積(ナラ枯等) (ha)	2.0	0.4	

【施行前】



撮影日：H28.11.17

【施行後】

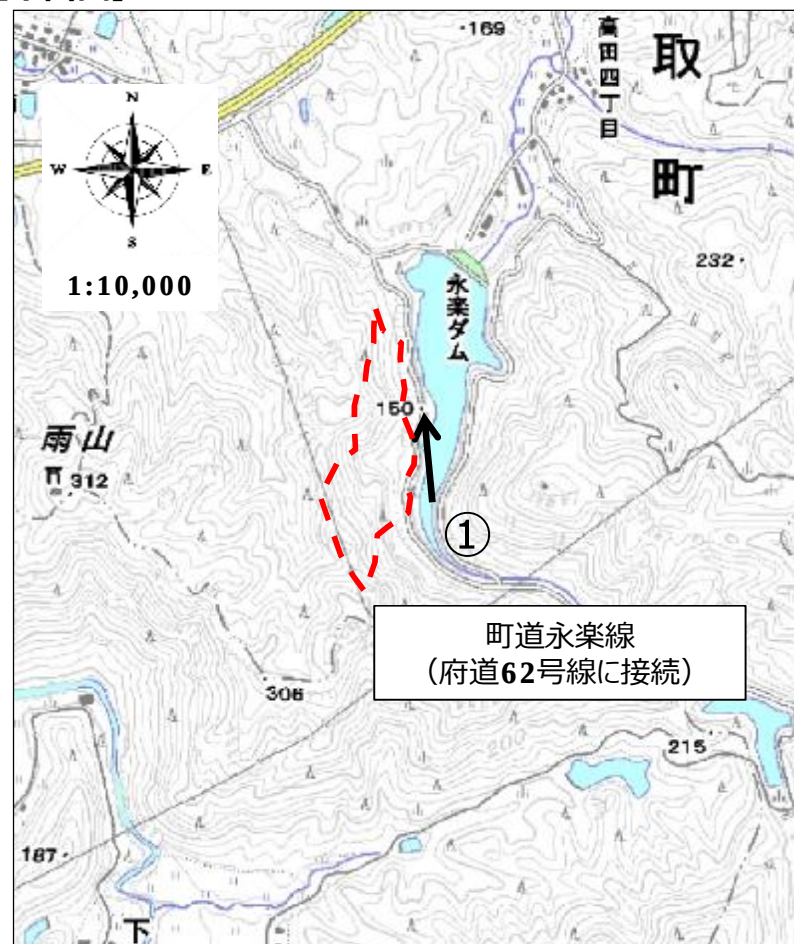


撮影日：H29.4.20

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(12) 府道62号 (熊取町久保地区)

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

【施行前】



撮影日：H29.9.13

【施行後】



撮影日：H30.4.3

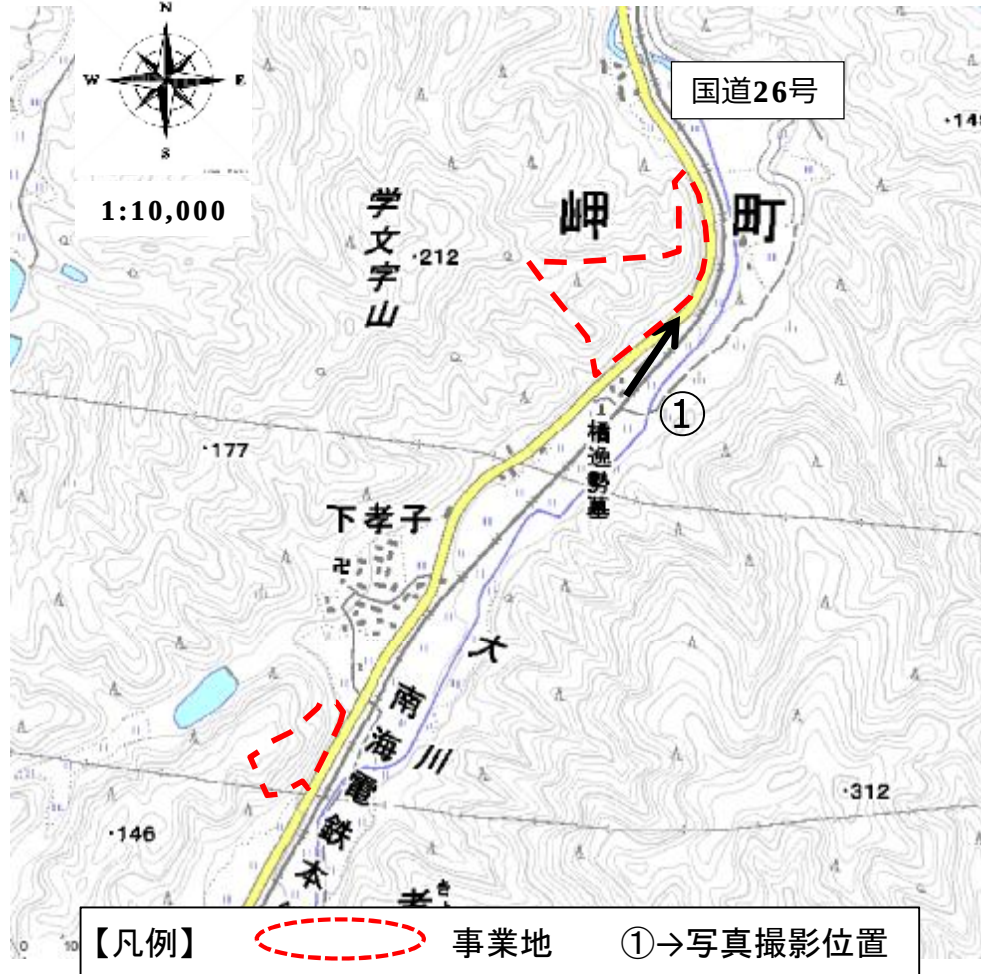
内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数 (箇所)	1	1	現地再調査を行った結果、尾根付近までマツ枯れ被害木が広がっていたため、対策が必要な面積が増加
整備面積(ナラ枯等) (ha)	5.0	6.2	

平成29年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

きょうし

(13) 国道26号（岬町孝子地区）

【平面図】



【施行前】



【施行後】



内容	H29計画	H29実績	備考
箇所数（箇所）	2	2	現地再調査を行った結果、山頂付近まで被害を受けやすい高齢木が広がっていたため、対策が必要な面積が増加
整備面積（ナラ枯等）（ha）	3.0	7.4	

平成29年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林整備グループ
連絡先	(06) 6210-9559

1 事業概要

事業実施年度	平成29年度
評価年月日	平成30年7月9日
① 概要等	施策区分 自然災害から府民の暮らしを守る取組み
事業名	主要道路沿いにおける倒木対策事業
事業概要	ナラ枯れ等、放置竹林対策
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	ナラ・カシ類などの広葉樹林の高齢化に伴い病害虫による枯死（ナラ枯れ）や放置竹林が増加しており、枯損木等による国道沿道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	H31～	合計
	当初計画(千円)	255,000	291,000	276,000	134,000	1,016,000
事業費	現計画(千円)	202,713	291,000	276,000	246,287	1,016,000
	執行額(千円)	202,713	217,640	—	—	—
④ 事業の内容	事業対象区域：山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」 （府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林） ・事業箇所数：ナラ枯れ等対策 約50箇所 放置竹林対策約40箇所 ・事業内容①ナラ枯れ等対策 ナラ枯れ等の病虫害被害が予想される高齢木の予防伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等 ②放置竹林対策 竹伐採、草刈、竹垣大防止柵の設置、広葉樹の苗木植栽、作業用歩道の整備等					

(単位:千円)

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
指標	実施路線数				
検証方法	事業の完成検査	13路線	13路線		
⑤ 実績	指標	ナラ枯れ等対策実施面積	41ha 16箇所	36ha 19箇所	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない
検証方法	事業の完成検査	2ha 8箇所	2ha 5箇所		詳細な調査・測量をした結果、対策が必要な箇所について事業を実施した。 なお、施工範囲の精査により、面積や箇所数が増減したが、計画通りの路線で事業を実施することができた。 (※詳細については箇所別個票参照)
検証の指標	指標				
検証方法	事業の完成検査				

(2) 事業効果

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
⑥ 効果検証の内容	指標	通行障害の発生抑制			
検証方法	事業実施後の通行障害発生の有無	○平成30年度中間評価は別資料に記載			
検証方法	現地追跡調査による危険木等の発生確認	○平成32年度に最終評価予定			

(3) 自己評価（総合）

総合評価		理由
⑦ 自己評価	☐ 評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
○事業実績は、妥当である。	

全体計画と今後のスケジュール

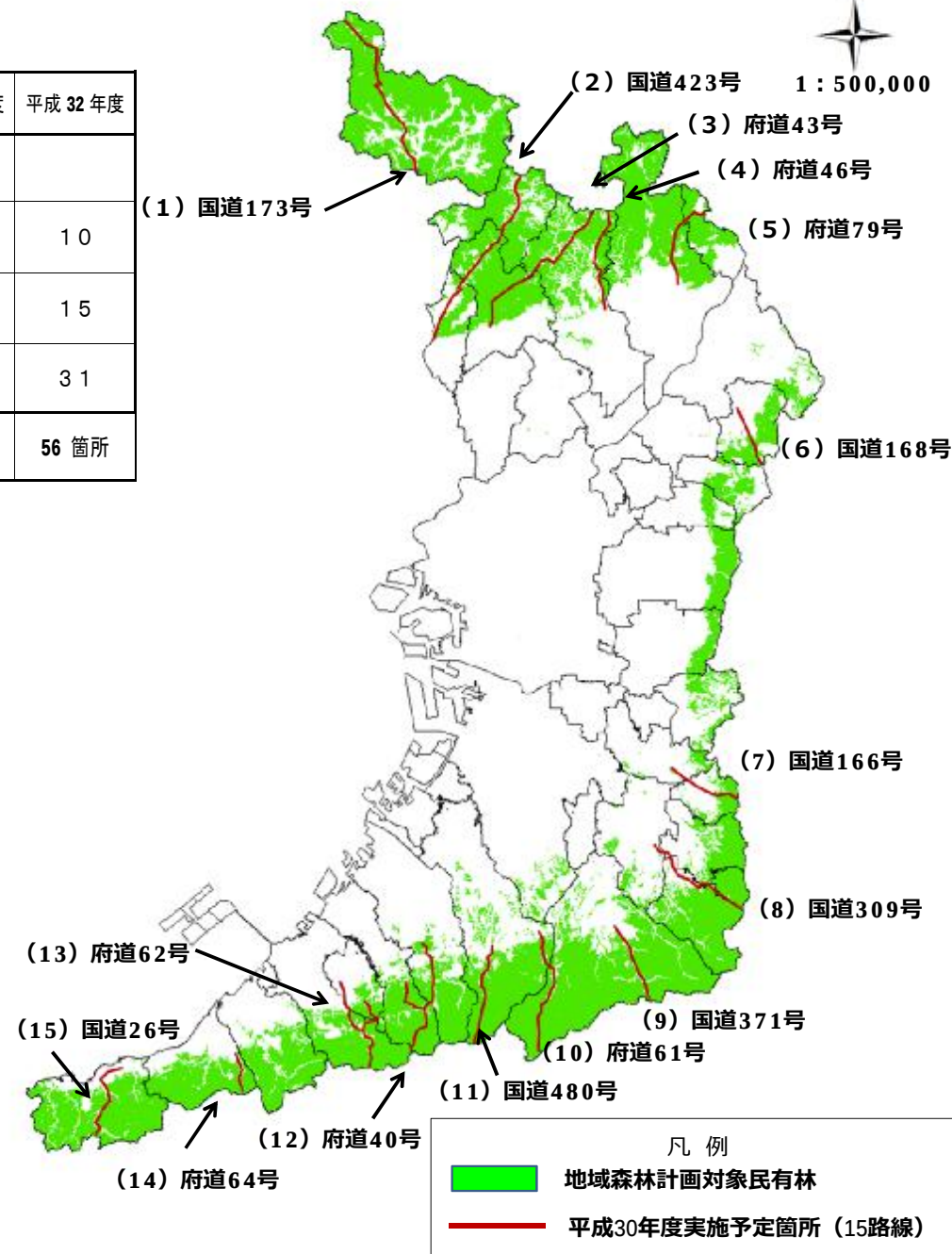
【全体計画】

	新規 着手	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
平成 28 年度 着手	18 箇所 (11 路線)	18	4	4	4	
平成 29 年度 着手	24 箇所 (2 路線)		24	12	11	10
平成 30 年度 着手	17 箇所 (3 路線)			17	16	15
平成 31 年度 着手	31 箇所 (4 路線)				31	31
合 計	90 箇所 (20 路線)	18 箇所 (11 路線)	28 箇所 (13 路線)	33 箇所 (15 路線)	62 箇所	56 箇所

【H30年度の計画数量】

路線名	地区名	区分	平成30年度事業	
			計画 箇所数	面積(ha)
(1) 国道173号	能勢町山辺	ナラ枯等	1	2.0
	能勢町天王	ナラ枯等	3(2)	7.5
(2) 国道423号	豊能町余野	ナラ枯等	1(1)	2.0
(3) 府道43号●	箕面市箕面	ナラ枯等	1	10.0
(4) 府道46号	茨木市車作	ナラ枯等	1(1)	9.0
		放置竹林	1	1.0
(5) 府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	2(1)	3.2
		放置竹林	1	0.4
	高槻市川久保	放置竹林	1	0.3
(6) 国道168号	交野市私市	ナラ枯等	3(2)	2.7
(7) 国道166号	太子町山田	放置竹林	3(2)	0.4
(8) 国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	3(2)	0.7
(9) 国道371号	河内長野市天見	放置竹林	3(1)	0.8
(10) 府道61号	河内長野市滝畑	放置竹林	3(2)	0.9
(11) 国道480号	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.2
	和泉市父鬼	ナラ枯等	1	1.0
(12) 府道40号●	貝塚市蕎原	ナラ枯等	1	1.0
(13) 府道62号	熊取町久保	ナラ枯等	1(1)	0.1
(14) 府道64号●	阪南市山中溪	ナラ枯等	1	2.0
(15) 国道26号	岬町孝子	ナラ枯等	1	0.1
計 15 路線 (うち、●は新規3路線)		ナラ枯等	17(8)	0.0
		放置竹林	16(8)	0.0
		合計	33(16)	45.3

()は前年度からの継続箇所の内数



①-ア 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）

【目的】

所有形態が小規模・分散化した森林をまとめた団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。

【事業概要】

基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成

○事業箇所数：34地区（9市町村・4,800ha）

○事業主体：森林所有者から森林施業を委託された林業事業体

○補助率：定額（府が工種ごとに定める補助単価に基づき算出）

○補助要件（対象森林）：

- ①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づく森林経営計画が作成され、計画的な間伐や木材搬出が見込まれること
- ②森林所有者や林業事業体が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること

※府・事業主体・森林所有者の3者で、20年間の協定を締結

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
平成28年度新規着手（10地区）	10地区	9地区	7地区	2地区
平成29年度新規着手（9地区）		9地区	9地区	5地区
平成30年度新規着手（12地区）			12地区	12地区
平成31年度新規着手（3地区）				3地区
計（34地区）	10地区	18地区	28地区	22地区

【事業計画】

単位：面積（ha） 材積（m³） 事業費（千円）

	全体計画				H28			H29			H30			H31		
	地区数	区域面積	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費
	34	4,806	29,713	1,080,800	10	4,533	321,000	18	7,209	205,800	28	7,878	241,800	22	10,093	312,200
（新規着手地区数）	-				(10)			(9)			(12)			(3)		

平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

■実績の概要

	H29計画	H29実績	備考
地 区 数	18地区	18地区	工事実施 測量・設計実施 工事実施（繰越） 10地区 6地区 2地区
搬出材積	7, 209m ³	6,854m ³	
事 業 費	205, 800千円	165, 718千円	内繰越額42,324千円
作業道整備	6, 600m	3,782m	繰越事業箇所2箇所除く
土場整備	19箇所	4箇所	繰越事業箇所2箇所除く

やまべ
【事業地】能勢町山辺地区
【事業者】大阪府森林組合豊能支店

(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.9.1



H29.11.2

②土場整備工



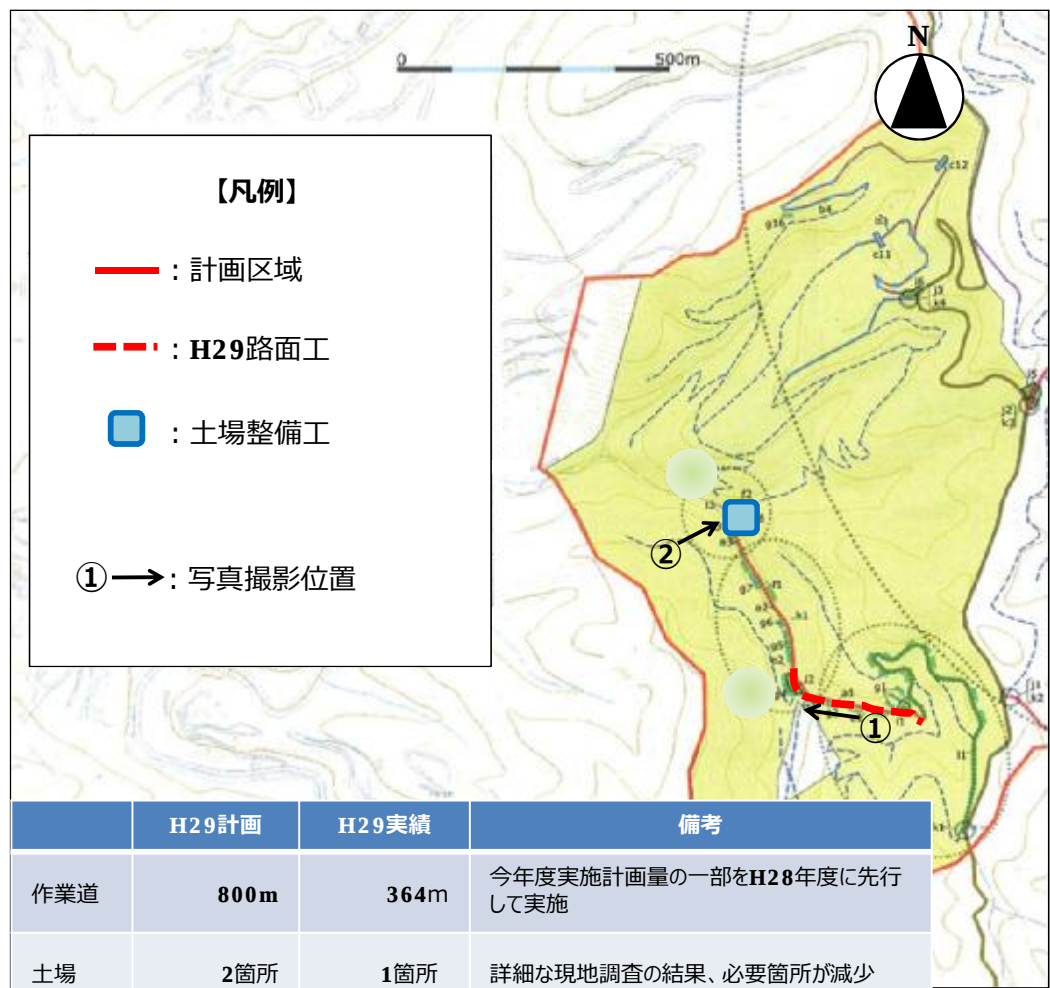
H29.7.25



H29.11.15

はらじごくだに
【事業地】高槻市原地獄谷地区
【事業者】大阪府森林組合三島支店

(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.9.26



H30.2.28

②土場整備工



H29.9.26



H30.2.28

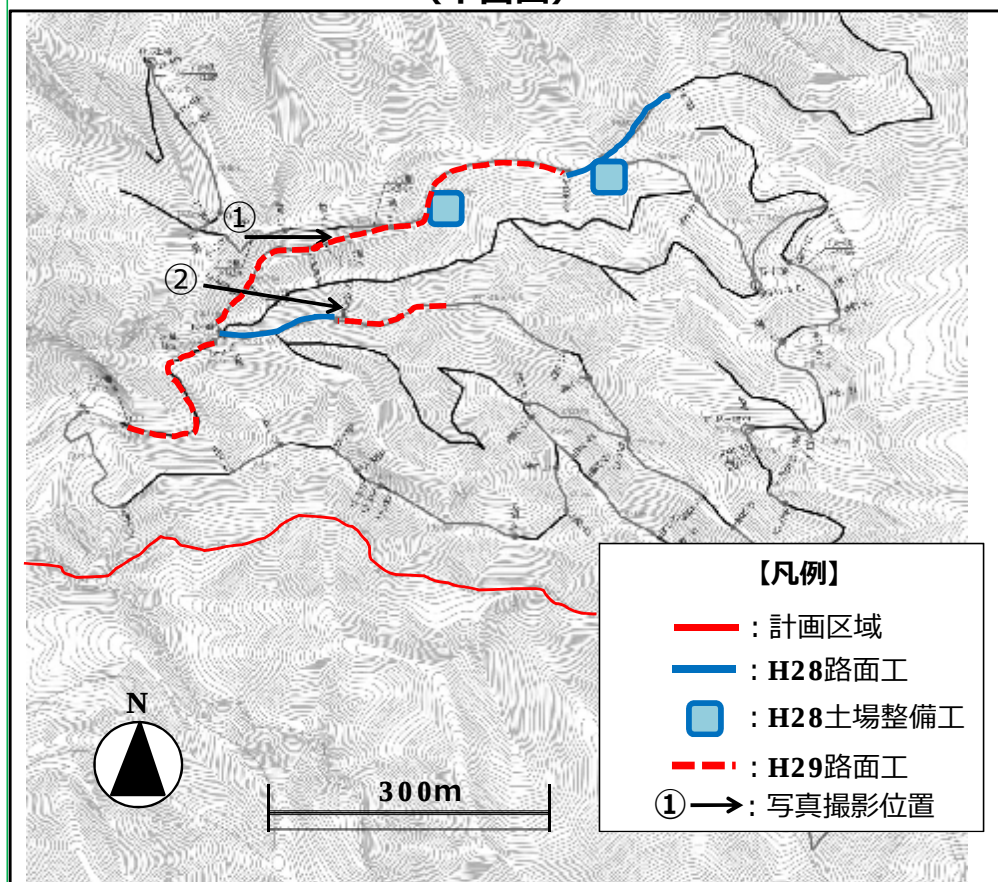
平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

ひらいし

【事業地】河南町平石地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



	H29計画	H29実績	備考
作業道	450m	919m	台風21号により、進入路が被災したため、H30年度に繰越。工事はH30年5月に完了
土場	1箇所	0箇所	H28年度に先行して実施

(施工前)

(施工後)

①路面工



H28.12.17



H30.6.11

②路面工



H29.3.22



H30.6.11

【事業地】河内長野市セノ谷・島の谷地区

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



	H29計画	H29実績	備考
作業道	250m	0m	台風21号によりH28年度施工区間の法面が崩落し、H29年度は同箇所の復旧工事を実施
土場	2箇所	0箇所	同上

①かご粹工
(施工前)



H29.11.29

(施工後)



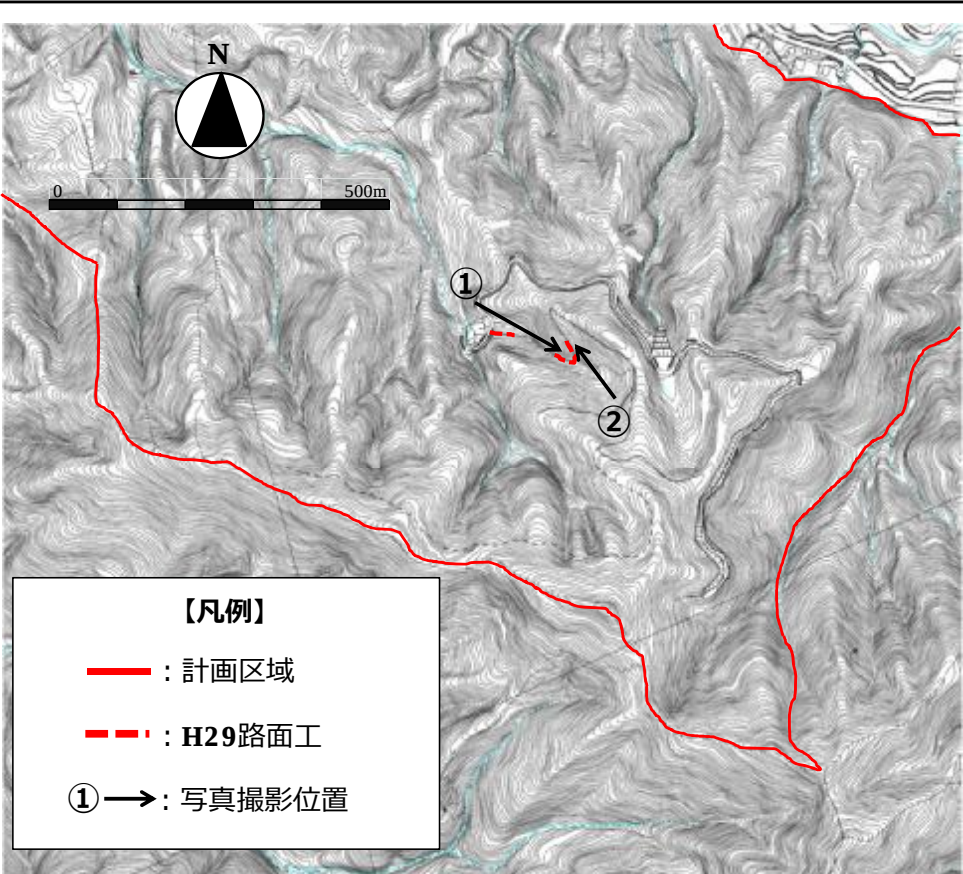
H30.3.29

おい はとほら

【事業地】河内長野市太井・鳩原地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



	H29計画	H29実績	備考
作業道	500m	114m	台風21号により一部区間の法面が崩落したので、被災区間の前後で事業実施
土場	1箇所	0箇所	同上

(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.5.18



H30.3.13

②路面工



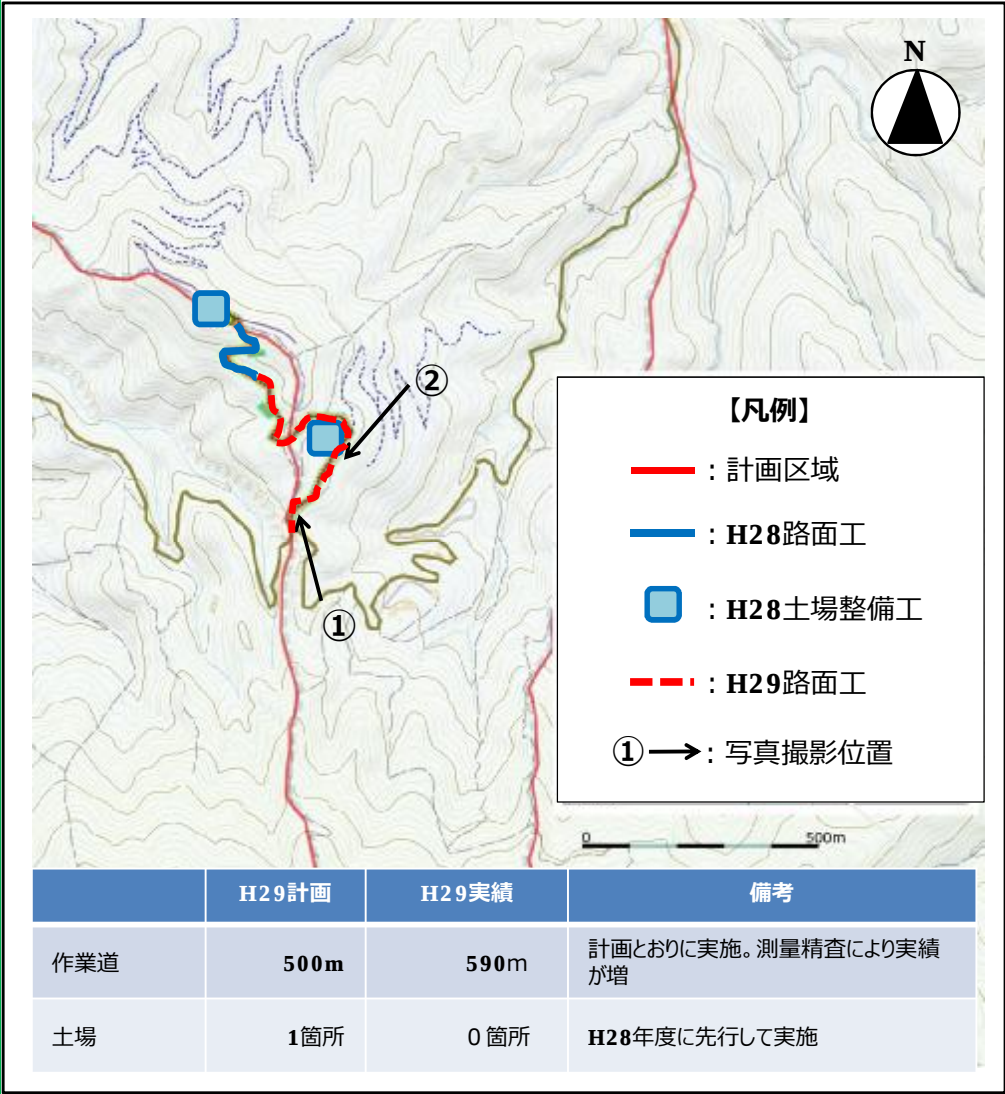
H29.5.18



H30.3.13

かがた

【事業地】河内長野市加賀田地区
【事業者】大阪府森林組合南河内支店
(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H28.5.19



H30.3.29

②路面工



H28.5.19



H30.3.29

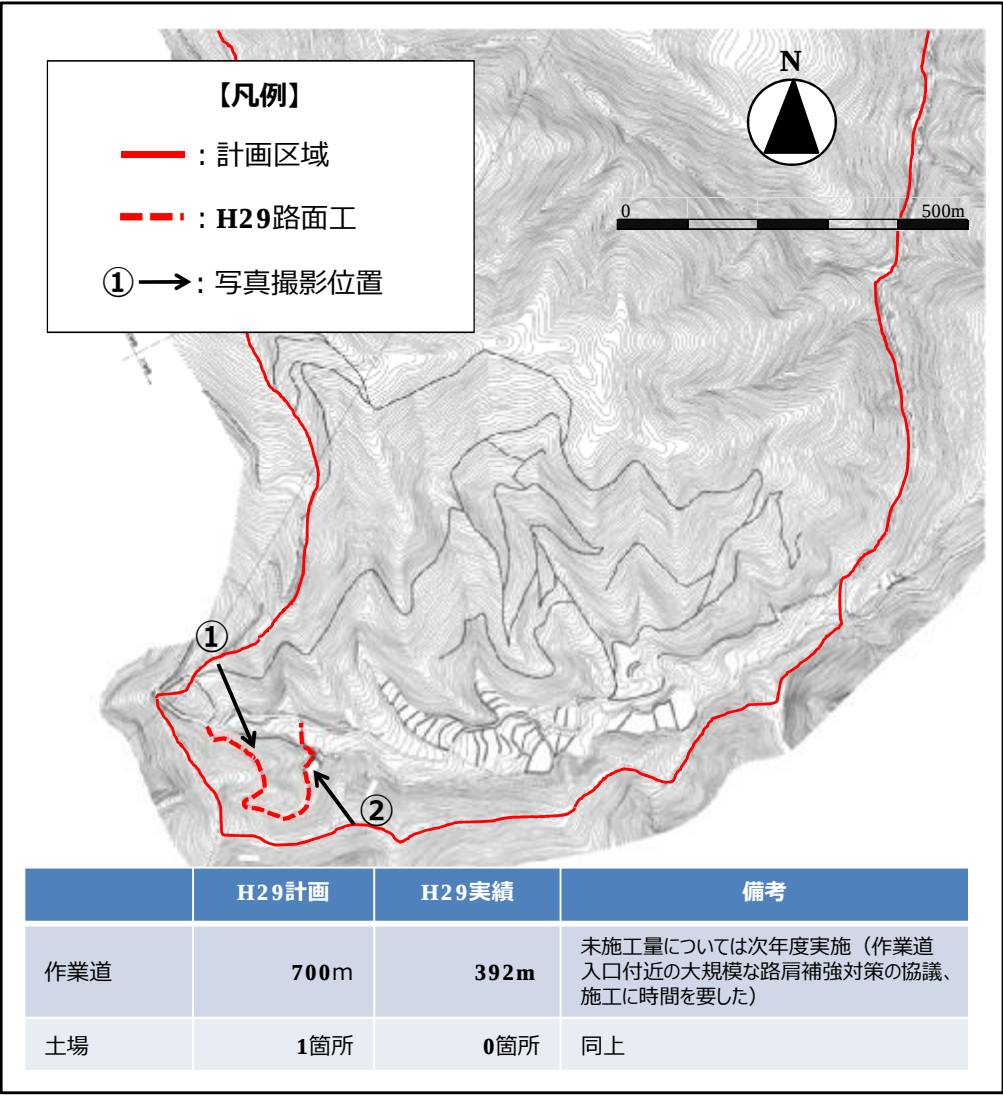
平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

たきはとうみょうだけ

【事業地】河内長野市滝畑燈明岳地区

【事業者】株式会社南河内林業

(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.5.18



H30.3.22

②路面工



H29.5.18



H30.3.22

平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

(3) - 2

ななこし

【事業地】和泉市七越地区

【事業者】大阪府森林組合泉州支店

	H29計画	H29実績	備考
作業道	150m	144m	計画とおりに実施
土場	1箇所	1箇所	同上



(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.5.26

H29.11.7

②土場整備工



H29.5.26

H30.11.7

平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

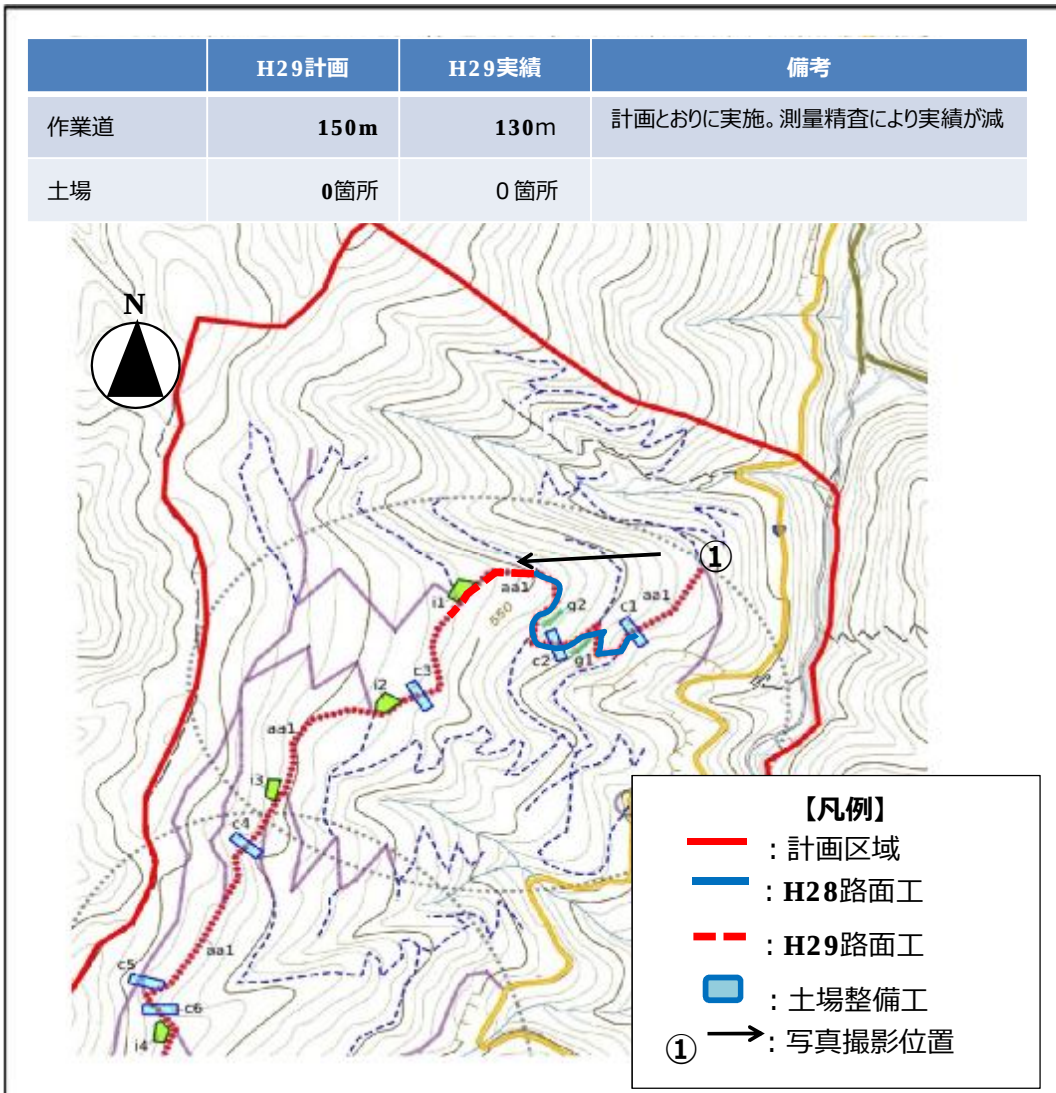
(3) - 2

おくさお

【事業地】和泉市奥笹尾地区

【事業者】大阪府森林組合泉州支店

(平面図)



(施工前) ①路面工



H29.5.26

(施工後)



H30.4.10

おおさわ

【事業地】岸和田市大沢地区(シガ谷)

【事業者】大阪府森林組合泉州支店

(平面図)



(施工前)

(施工後)

①路面工



H29.9.20



H30.4.10

②土場整備工



H29.11.30



H30.4.10

平成29年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績【課題地区】

(3) - 2

【その他の事業地】

○H29年度事業

事業地	事業者	事業内容	H29年度計画
高槻市川久保地区	大阪府森林組合三島支店	測量・設計を実施	作業道 50m 土 場 1箇所
千早赤阪村 水分池の谷地区	大阪府森林組合南河内支店	測量・設計を実施 ※台風21号により進入路の林道菖蒲谷線が被災	作業道 50m 土 場 1箇所
千早赤阪村 千早黒梶谷地区	大阪府森林組合南河内支店	測量・設計を実施 ※台風21号により進入路の林道長谷線が被災	作業道 200m 土 場 1箇所
河内長野市 石見川南部地区	株式会社南河内林業	測量・設計を実施	作業道 900m 土 場 1箇所
河内長野市 滝畑御光滝地区	大阪府森林組合南河内支店	測量・設計を実施 ※台風21号により進入路の林道御光滝線が被災	作業道 50m 土 場 1箇所
和泉市父鬼宮の谷・ 大岩地区	大阪府森林組合泉州支店	測量・設計を実施	作業道 -m 土 場 1箇所

○H29→H30年度繰越事業（繰越事業中のもの）

事業地	事業者	事業内容	
千早赤阪村 水分ウスイ谷地区	大阪府森林組合南河内支店	路面工等 ※台風21号により進入路の林道ウスイ谷線が被災したので、繰越して事業実施中	作業道 250m 土 場 1箇所
千早赤阪村 千早久留野峠地区	大阪府森林組合南河内支店	路面工等 ※台風21号により進入路の林道久留野線が被災したので、繰越して事業実施中	作業道 150m 土 場 1箇所

①河南町平石



②千早赤阪村千早



③河内長野市滝畑



※この他にも、多数の林道等の
進入路が被災

- ①法面が崩落し、路面に土砂が流出
- ②上流からの土砂によりコンクリート橋が流出、路面に大量の土石等が流出
- ③路肩崩落によりブロック積擁壁等が損壊

平成29年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

事業概要

事業実施年度	平成29年度	
評価年月日	平成30年7月9日	
①概要等	施策区分	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業概要	事業名	持続的な森づくり推進事業(基盤づくり)
	事業概要	基幹作業道の舗装・集積土場の整備
	事業開始年度	平成28年度
②事業の目的	所有形態が小規模・分散化した森林をまとまった団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。	

③事業費	年度別推移	H28	H29	H30	H31～	合計
執行額(千円)	当初計画(千円)	321,000	205,800	241,800	312,200	1,080,800
	現計画(千円)	237,668	205,800	325,132	312,200	1,080,800
	執行額(千円)	237,668	165,718	—	—	—

基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成
○事業箇所数:34地区(4,800ha)
○事業主体:森林所有者から森林施業を委託された林業事業体
○補助率:定額(工種毎の補助単価に基づき算出)
○対象森林:
①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づき森林経営計画が作成され、計画的な間伐や搬出が見込まれること。
②森林所有者や林業事業体が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること。

(単位:千円)

(単位:千円)

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤実績検証の内容	指標	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	基幹作業道の舗装				
	検証方法	事業の完成検査	6,600m	3,782m		
	指標	集積土場の整備				
⑥効果検証の内容	検証方法	事業の完成検査	19箇所	4箇所		
(2) 事業効果						
⑤実績検証の内容	指標	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	34箇所・4,800haの森林の健全化				
	検証方法	間伐実施量の確認 間伐材搬出量の確認 協定締結した森林所有者数の確認	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定			

(3) 自己評価(総合)						
⑥効果検証の内容	指標	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	34箇所・4,800haの森林の健全化				
	検証方法	間伐実施量の確認 間伐材搬出量の確認 協定締結した森林所有者数の確認	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定			

(3) 自己評価(総合)	
総合評価	理由
⑦自己評価 ☐ 評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

3 第三者評価

大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見	
⑧第三者評価	○事業実績は、概ね妥当である。 ○自然災害等に対応して、工程計画を適切に見直して実施することを確認した。

【持続的な森づくり（基盤づくり）事業箇所位置図】

番号	市町村名	地区名	実施年度		
			H28	H29	H30
1	能勢町	山辺			
2	高槻市	川久保			
3		二料			
4		出灰流谷			
5		原也談谷			
6	河南町	平石			
7	千早赤阪村	水分ウスイ谷			
8		水分篠峰山			
9		水分池ノ谷			
10		水分足谷			
11		東阪			
12		千早黒桐谷			
13		千早久留野峠			
14		千早五條峠			
15		中津原			
16	河内長野市	小深大住谷			
17		石見川北部			
18		石見川南部			
19		セノ谷・島の谷			
20		太井・鳩の原・神ヶ丘			
21		岩瀬			
22		天見東部			
23		天見棒谷			
24		加賀田			
25		滝畑御所			
26		滝畑御光滝谷			
27	和泉市	父鬼七越			
28		父鬼宮の谷・大岩			
29		父鬼奥笹尾			
30	岸和田市	大沢ガ谷			
31	岸和田市	大沢牛滝			
32		木積			
33	貝塚市	本谷			
34	泉佐野市	大木			
34箇所			10	18	28



平成28・29年度新規着手の箇所（19箇所）



平成30年度新規着手の箇所（12箇所）

(34) 泉佐野市大木

(31) 岸和田市大沢牛滝

(29) 和泉市奥笹尾

(28) 和泉市宮の谷

(26) 河内長野市御光滝谷

(21) 河内長野市岩瀬

(20) 河内長野市太井

(16) 河内長野市大住谷

(15) 千早赤阪村中津原

(11) 千早赤阪村東阪

(10) 千早赤阪村足谷

(9) 千早赤阪村池ノ谷

(5) 高槻市原地獄谷

(3) 高槻市二料

(1) 能勢町山辺



1:250,000

(4) 高槻市出灰流谷

(2) 高槻市川久保

(6) 河南町平石

(7) 千早赤阪村ウスイ谷

(8) 千早赤阪村篠峰山

(12) 千早赤阪村黒桐谷

(13) 千早赤阪村久留野峠

(14) 千早赤阪村五條峠

(17) 河内長野市石見川北部

(18) 河内長野市石見川南部

(19) 河内長野市セノ谷・島の谷

(23) 河内長野市天見棒谷 (22) 河内長野市天見東部

(24) 河内長野市加賀田

(25) 河内長野市燈明岳

(27) 和泉市七越

(33) 貝塚市本谷

(32) 貝塚市木積

(2)健全な森林を次世代へつなぐ取組み

①-イ 持続的な森づくり推進事業（人材育成）

【目的】

林業技術や森林経営等の知識・ノウハウを持ち、地域の森林管理の中核を担う森林経営リーダー（若手従事者（後継者））や川上から川下までの関係者とネットワークを構築し、府内産材に関する流通等のコーディネーター役となる人材を確保し、長期にわたる森林経営の適切な実施や府内産材の需要拡大により、持続的な森づくりを推進する。

【事業概要】

森林経営リーダーや府内産材コーディネーターを確保するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。

○事業主体：大阪府

○事業内容等：

①府内産材コーディネーターの育成（10名）

- ・木材流通業者を対象に木材業経営についての講義を基軸に川上・川下従事者での意見交換を含めた研修を実施。
- ・研修回数：3回/年（1年で終了）[H28]（受講料を徴収）

②森林経営リーダーの育成（12名）（※①-アH28に基盤づくり事業を実施した10地区で3名が担当。全域で12名を想定）

- ・森林経営について先進的な取組みを行う林業従事者や民間企業、森林・木材に関する学識者等への講師派遣の依頼により、森林経営や施業技術、集約化プランニング等の講義や現地研修等を実施
- ・研修回数：4回/年×3か年＝全12回[H29～H31:3ヶ年継続で実施]（受講料を徴収）

【事業計画】

単位（事業費）：千円

区 分	全体計画		H28		H29～H31：3ヶ年継続					
					H29		H30		H31	
	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費
府内産材コーディネーター	10	1,050	10	1,050	—	—	—	—	—	—
森林経営リーダー	12	3,150	—	—	12	1,050	(12)	1,050	(12)	1,050
合 計	22	4,200	10	1,050	12	1,050	(12)	1,050	(12)	1,050

平成29年度 持続的な森づくり推進事業（人材育成）実績

■ 持続的な森づくり・森林経営講座（3ヶ年継続講座）

◆ 森林経営リーダー 17名育成（育成のための研修会開催 4回）

日 時	内 容	講 師
1月23日(火) 13:00～16:00	オリエンテーション	大阪府 みどり推進室
	① 講演：木の価値を高めて林業を元気にする	講師：林材ライター 赤堀楠雄氏
	② 意見交換会：川上から川下までの流通について(1)	コーディネーター：久留米大学教授 梶原晃氏
3月22日(木) 10:00～16:00	③ 講習：林業架線作業主任者免許試験の受験準備講習 ・関係法令 ・機械集材装置及び運材索道に関する知識 ・林業架線作業に関する知識 ・林業架線作業に必要な力学に関する知識	講師： 静岡県林業技術者協会副会長 天野忠俊氏
3月23日(金) 10:00～16:00		
3月24日(土) 10:00～16:00		



【講演・意見交換会開催の様子】

H30.1.23



【講習会の様子】

H30.3.22

【意見交換会での主な意見】

- おおさか材は素材としては品質が高い。今後、川上と川下がタッグを組んで利用促進していければいい。
- 子育て施設木のぬくもり推進事業が始まったことで、業界でおおさか材の認知が広まった。このことは普及という観点で大きな意義がある。
- 原木を供給する山側、木材店、工務店、設計士をコーディネートできる人材が必要。

【参加者年代別構成】

20代	30代	40代	50代	合計
2人	6人	7人	2人	17人

【事業概要】 森林経営リーダーを育成するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。

平成29年度～31年度：3ヶ年継続実施

【育成対象】 17名：持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）の事業箇所34地区での推進役

【実施内容】 第1～4回（9～12月）講座【※調整中】

○講座

- ・講演会：（仮）森林施業について
- ・意見交換会：川上から川下までの流通について
- ・講習会：林業架線作業主任者免許試験の準備講習

○現場

- ・先進事例現場視察

平成29年度 持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)実績

◆未利用木質資源を継続的・安定的に搬出し、利活用する仕組みづくりの一環として、平成29年度～平成31年度の3ヶ年に亘り本事業を担う事業者を企画提案公募により募集。選定委員会により事業者を選定した後、業務を委託。

(募集期間) 平成29年12月11日～平成30年1月11日

(説明会) 平成29年12月22日(4団体が出席)

(応募者) 特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(選定委員会) 平成30年1月24日

所属・職名等	氏名	経歴資格等	指名理由・審査の観点	議長
京都大学 フィールド科学教育研究センター 助教	坂野上 なお		林業、木材流通、経済分野に精通しており、これらの幅広い視点から、提案内容が実効的な内容となっているか審査いただくため	○
日本公認会計士協会 近畿会	若松 尚也	公認会計士	事務局運営の妥当性、継続性財務状況など、会計分野の専門的な観点から公募、公正に審査いただくため	
大阪弁護士会	辻川 圭乃	弁護士	法律の専門家として、法的な観点から公平・公正に審査していただくため	

(選定結果) 書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて、事業の企画内容、実施体制、提案金額等を総合的に評価した結果、本業務の効果的な執行が十分可能であることから、特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会を選定事業者とする。

(選定理由) ・過去の活動実績、他団体との交流実績により、本事業の実現可能性が高いと判断
 ・提案された中核団体の技術力をよく把握しており、必要に応じて適切な技術指導をしていくことができると判断
 ・提案された中核団体とバイオマス事業者とのマッチングの課題整理がなされており、提案内容に継続性・発展性が認められる。

平成29年度 持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)実績

(事業者名) 特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(契約期間) 平成30年1月31日～平成32年3月16日

(契約金額) 18,071,696円 (搬出活動中核団体数) 5団体 (搬出活動参加延べ人数) 75人

(取組内容)

	主な活動事例	活動内容	参加団体
1	未利用木質資源の利用に関する研修会	未利用材の利用方法の一つである木質バイオマス発電についての研修会を開催。併せて未利用材の活用方法として府内のバイオマス発電事業者の協力を取り付けることができた。	島本森のクラブ 里山倶楽部 茨木里山を守る会 茨木ふるさとの森林づくり隊 日本森林ボランティア協会
2	ポータブルウィンチ指導者研修	ポータブルウィンチの使用方法についての現地研修を実施	とどろみの森クラブ 茨木ふるさと森林づくり隊 日本森林ボランティア協会
3	未利用材搬出作業 (豊能町妙見山)	林内車とポータブルウィンチを用い、 8m³ の材を搬出。 (森林所有者数1名・活動面積 1.63ha)	とどろみの森クラブ 日本森林ボランティア協会



H30.2.23 【研修会】



H30.3.20 【林内車を用いた搬出作業】



H30.2.26



【ポータブルウィンチを使用した搬出作業】

平成29年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

事業実施年度	平成29年度
評価年月日	平成30年7月9日
① 概要等	① 施策区分 健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業名	持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)
事業概要	搬出体積の構築に向けた事務局の設置、活動状況を周知
事業開始年度	平成28年度
② 事業の目的	人工林や里山林で伐採後放置された林地残材(未利用材)の有効活用により森林の健全化を図るため、林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等が林地残材を自ら断続的・安定的に搬出するために必要な仕組みを構築する。

(単位:千円)

③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	H31～	合計
	当初計画(千円)	2,851	18,071	2,400	1,400	24,722
	現計画(千円)	2,255	18,071	2,400	1,996	24,722
	執行額(千円)	2,255	15,009	—	—	—
④ 事業の内容	本事業は平成29年度に見直しを行い、林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等に対する林地残材搬出用機械等の貸与や搬出された材を活用する木質バイオマス利用事業者等とのマッチングを行い、林地残材を継続的・安定的に搬出する仕組みづくりの一環として平成29年度～平成31年度の3ヶ年に亘り本事業を担う事業者を選定し、運営を委託するものとした。					

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	活動中核団体数			
	検証方法	実績の確認	2団体	5団体	
	指標	搬出活動参加延べ人数	100人	75人	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない
	検証方法	実績の確認			3ヶ年事業の1年目にあたる平成29年度の事業実績については、搬出活動を担う中核団体が計画では2団体に対して、実績では5団体と大きく計画を上回った。一方、搬出活動参加延べ人数は計画数を若干下回ったものの、中核団体5団体の会員数が385人であり、今後の活動に大きく期待できることを確認した。
(2) 事業効果					

⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	関係者の理解度の向上			
	検証方法	森林所有者、活動参加者への意識調査			○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定
	指標	搬出活動参加延べ人数(300人)			
	検証方法	実績の確認			
	指標	活動中核団体数(6団体)			
	検証方法	実績の確認			

(3) 自己評価(総合)

⑦ 自己評価	総合評価	理由
	☐ 評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない	○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
事業実績は、妥当である	

平成30年度 持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)予定

(事業者名) 特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

(事業内容) 計画の2年目にあたる平成30年度は、未利用搬出活動の中核となる団体を5団体から6団体への増強し、搬出活動に必要な機材を貸与、併せて搬出作業技術の向上を目的とした研修等を実施すると共に、未利用材利用事業者とのマッチングを行うことにより、安定的・継続的に未利用材を搬出、利用するシステムを構築する

(契約期間) 平成30年1月31日～平成32年3月16日

(契約金額) 18,071,696円(3ヶ年契約金額)

(H30年度目標搬出活動中核団体数) 4団体 (H30年度目標搬出活動参加延べ人数) 200人

- ・平成29年度に確保した中核団体5団体(とどろみの森クラブ、茨木里山を守る会、茨木ふるさと森づくり隊、島本森のクラブ、里山倶楽部)がそれぞれの活動地を中心に、機材(ポータブルウィンチ・林内車)を用いて、未利用材搬出作業を実施することに加え、新たな1団体を確保する。
- ・事業者は平成29年度に引き続き、上記の団体を対象に機材の安全利用について指導を行うと共に未利用材利用事業者(木質バイオマス発電事業者)とのマッチング調整を実施
- ・活動地の拡大のため森林組合等、林業事業者や森林所有者との調整を実施。

(2)健全な森林を次世代へつなぐ取組み

② 子育て施設木のぬくもり推進事業

【目的】

保育園や幼稚園の子育て施設における木材利用、とりわけ子どもたちが直接触れる床や壁等内装での利用を促進することにより、ストレス緩和や室内の快適性を高めるなど、子どもの育成環境に良い効果を与えるとともに、森林の大切さや木材に対する理解を深める「木育」の促進につなげる。

【事業概要】

内装（床・壁）木質化等に対して、その必要となる経費を支援する

- 対象施設：大阪府内の幼稚園及び認可保育所、認定こども園、地域型保育事業を行う事業所
- 事業主体：幼稚園等の施設設置者、地域型保育事業の事業主体
- 補助率：1/2（上限2,500千円）
- 補助要件：
 - ・原則、『おおさか材』（認証材）を使用する
 - ・市町村が事業主体となる場合は、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づく、市町村木材利用方針が策定されていること
 - ・整備後の効果等を把握するためのアンケート調査への協力
 - ・施設の職員や施工事業者が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする

【事業計画】

単位：千円

年 度	全体計画	H28	H29	H30	H31
実施箇所数	150	30	40	40	40
事業費	376,500	75,300	100,400	100,400	100,400



床・腰壁の木質化（能勢町・みどり丘幼稚園）



ウッドデッキの木質化（守口市・御幸幼稚園）

平成29年度 子育て施設木のぬくもり推進事業 事業実績

■事業実績

【募集期間】 1次募集：4月20日（木）～6月30日（金）、2次募集：8月21日（月）～3月30日（金）
 【認定数】 31施設（内訳）北部：5、中部：15、南河内：3、泉州：8）
 【実績額】 51,990千円 【おおさか材】 66m³

番号	市町村名	園 名	内 容	床面積（㎡）	おおさか材 使用量（m ³ ）	木育リーダー
1	堺市南区	美木多幼稚園	床	520.38	7.78	教諭
2	堺市北区	堺金岡幼稚園	ウッドデッキ	151.16	4.81	園長
3	高槻市	柱本保育園	建具・棚等	19.60	0.65	主任保育教諭・子育て支援員
4	大阪市福島区	下福島幼稚園	床	150.04	2.70	理事長・園長
5	枚方市	青桐保育園 分園 houho	床・壁・天井	54.60	1.80	園長・主任
6	能勢町	みどり丘幼稚園	床・壁・棚	235.60	3.73	園長
7	高石市	清高幼稚園	壁・据付棚	112.10	0.02	園長
8	堺市南区	泉北園	床	61.00	0.85	園長
9	枚方市	ハレルヤ保育園	床・壁・天井	109.77	3.98	園長
10	大阪市阿倍野区	むつみ幼稚園	床	104.97	1.48	園長・副園長・教諭
11	豊中市	くりのみ幼稚園	ウッドデッキ	113.11	1.27	園長
12	堺市南区	たけしろ幼稚園	壁	111.73	0.02	園長
13	大阪市東住吉区	東田辺コティ保育園	床・壁・棚	82.85	1.74	主任保育士

番号	市町村名	園 名	内 容	床面積 (㎡)	おおさか材 使用量 (㎡)	木育リーダー
14	泉南市	なるにつこ認定こども園	床	214.95	2.63	園長
15	大阪市住吉区	こぐま保育園	建具	39.39	0.65	園長
16	堺市東区	菜の花こども園	腰壁・家具	253.17	2.78	木育委員
17	河内長野市	柳風台保育園	床	90.46	1.01	主任保育士
18	松原市	みつばち保育園	床	535.00	8.04	保育士×2
19	大阪市住之江区	愛染園南港東保育園	床、腰壁	160.49	2.08	園長
20	大阪市大正区	めぐみ保育園	床、腰壁	22.68	0.88	園長・主任
21	堺市堺区	しおあなの森保育園	ウッドデッキ	22.22	0.65	園長・主任・子育て支援担 当職員
22	大阪市住之江区	中かがや幼稚園	床・腰壁・カウンター・下足入	26.03	0.81	事務長
23	大阪市此花区	梅香幼稚園	床	38.00	0.62	園長
24	羽曳野市	四天王寺悲田院保育園	棚・ウッドデッキ	38.09	0.99	保育士×2
25	枚方市	吉泉さくら保育園	床	170.70	2.64	園長
26	大阪市	万代幼稚園	家具	123.67	1.36	保育士
27	池田市	さつきこども園	ウッドデッキ、庇	83.09	3.77	職員
28	東大阪市	たいよう学院	壁	168.03	4.03	園長
29	大阪市港区	波除学園	ウッドデッキ・靴箱	52.44	1.01	乳児部主任・幼児部主任
30	大阪市旭区	平和の子保育園	床	48.75	0.70	保育士
31	豊中市	豊中文化幼稚園	棚	23.18	1.45	保育士
合計				3,937.25	66.92	木育リーダー：計42名

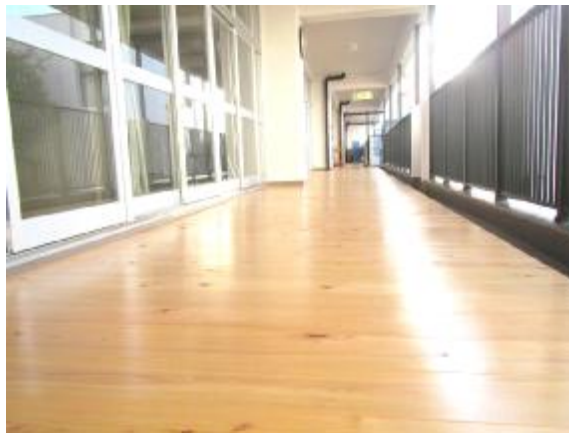
■実施状況

1 美木多幼稚園



H29.9.27

2 堺金岡幼稚園



H29.10.25

3 柱本保育園



H29.10.07

4 下福島幼稚園



H29.9.27

5 青桐保育園 分園



H29.9.27

6 みどり丘幼稚園



H29.11.30

■実施状況

7 清高幼稚園



H30.03.02

8 泉北園



H30.1.16

9 ハレルヤ保育園



H30.1.31

10 むつみ幼稚園



H29.9.29

11 くりのみ幼稚園



H29.11.30

12 たけしろ幼稚園



H30.3.2

■実施状況

13 東田辺コティ保育園



H30.1.26

14 なるにつこ認定こども園



H30.3.16

15 こぐま保育園



H30.3.8

16 菜の花こども園



H30.3.13

17 柳風台保育園



H29.11.7

18 みつばち保育園



H30.3.19

■実施状況

19 愛染園南港東保育園



H30.2.27

20 めぐみ保育園



H30.3.14

21 しおあなの森保育園



H30.2.7

22 中かがや幼稚園



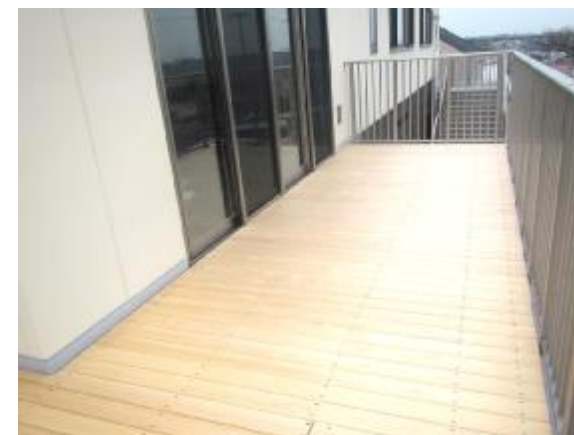
H30.2.27

23 梅香幼稚園



H30.1.31

24 四天王寺悲田院保育園



H30.3.19

■実施状況

25 吉泉さくら保育園



H30.3.5

26 万代幼稚園



H30.3.22

27 さつきこども園



H30.3.14

28 たいよう学院



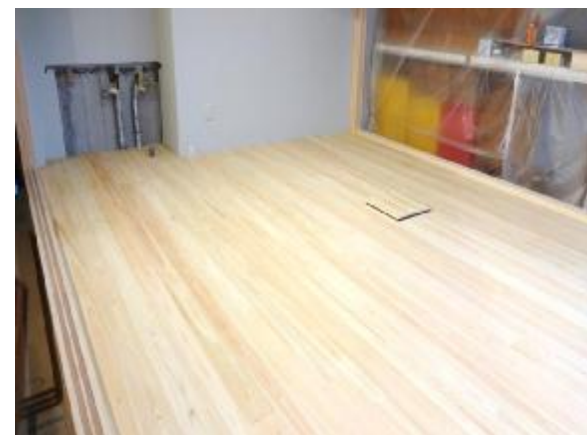
H30.3.16

29 波除学園



H30.3.14

30 平和の子保育園



H30.3.20

■実施状況

31 豊中文化幼稚園



H30.3.26

■ みどり丘幼稚園（豊能郡能勢町）

○木のぬくもりを感じる保育室での描画活動

→園長先生の声

科学する心を育む「木育活動」において、直接木に触れることで親しみを増し、五感を通して木材の良さを感じることができました。



■ みつばち保育園（松原市）

○木のぬくもりに満ちた保育室でのリズム遊び

→園長先生の声

4月から新園舎での保育がスタートしました。温かい木のぬくもりに満ちた園舎で子どもたちがのびのびと過ごしています。



■東田辺コティ保育園（大阪市住吉区）

○ 保護者会で森林環境税と事業の説明

→園長先生の声

以前はコンクリートに貼られた木材が劣化した硬い床で、裸足の保育をしていました。

工事後はひのきの香りの床に癒されています。



■ハレルヤ保育園（枚方市）

○ 園児と保護者のふれあい体験会

→園長先生の声

こどもの保育環境が明るくなり、木の香りとともに乳幼児が直接、木を肌でふれ、感じられることにとてもうれしく思っています。



平成29年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要

事業実施年度	平成29年度
評価年月日	平成30年7月9日
①概要等	健全な森林を次世代へつなぐ取組み
事業名	子育て施設木のぬくもり推進事業
事業概要	木育・内装木質化推進
事業開始年度	平成28年度
②事業の目的	幼稚園、保育所、認定子ども園の子育て施設を対象に、床や壁など、内装の木質化を支援することにより、子どもの生育環境の充実を図るとともに、子どものうちから木材に対する理解を深める「木育」の促進、及び府内の森林資源の循環利用による健全な森林の保全に資することを目的とする。

③事業費	年度別推移	H28	H29	H30	H31～	合計
	当初計画(千円)	75,300	100,400	100,400	100,400	376,500
	現計画(千円)	67,934	100,400	107,766	100,400	376,500
	執行額(千円)	67,934	52,231	—	—	—
④事業の内容	・内装(床・壁)木質化に対して、その必要となる経費を支援する ○対象施設:府内の幼稚園及び認可保育所(認定子ども園を含む) ○補助率:1/2(上限2,500千円) ○補助要件: ・原則、『おおさか材』(認証材)を使用する ・施設の職員等が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする					

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤実績検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	子育て施設の内装木質化	40園	31園	
	検証方法	木質化した園数			
	指標	おおさか材使用量	60㎡	66㎡	☐ 妥当である ☒ 概ね妥当である
	検証方法	おおさか材使用量の確認			事業者への直接のPR不足もあり、計画予定施設を下回ったものの、おおさか材使用量・木育リーダーの数は計画を上回る実績であった。また、保育園等によるPRに広がりが見られ、今後の木育活動の効果に大きく期待できるところである。PR不足の改善については、今年度より、市町村の協力を得て、事業者への直接PRに取組んでいる。
	指標	木育リーダーの人数	40人	42人	☐ あまり妥当でない ☐ 妥当でない
	検証方法	木育リーダーの人数の確認			

(2) 事業効果

⑥効果検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	利用者の木材利用に関する理解度の向上			
	検証方法	アンケートの実施			○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

(3) 自己評価(総合)

⑦自己評価	総合評価	理由
☐ 評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない		○平成30年度中間評価は別資料に記載 ○平成32年度に最終評価予定

3 第三者評価

⑧第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
	○事業実績は、概ね妥当である。 ○本事業を推進するためのさらなるPRは、団体協会あるいは市町村との連携をより深めていくことを要望した。

【予算額（補助金）】107,766千円
【施設数】43施設 【おおさか材】65m³

【第1次募集】平成30年4月16日（月）～平成30年7月31日（金）

平成30年度子育て施設木のぬくもり推進事業 募集要項

平成30年4月16日
大阪府環境農林水産部みどり推進室長

1 趣旨

大阪府では、幼稚園、保育所、認定こども園等の子育て施設を対象に、床や壁など、内装等の木質化を支援することにより、子どもの成長環境の充実を図るとともに、子どものうちから木材に接することで、その良さを体感し、森林の大切さや木材に対する理解を深めることを目的として、森林環境税を活用した「子育て施設木のぬくもり推進事業費補助金」を交付することとしました。この補助金の交付を希望する事業者を募集します。

2 事業概要

○補助事業の概要は別表のとおりです。
○詳細については、子育て施設木のぬくもり推進事業実施要領（以下「実施要領」という。）をご参照ください。

3 募集の方法

- (1) 募集期間 **平成30年4月16日（月曜日）から平成30年7月31日（火曜日）まで**
(2) 提出書類 子育て施設木のぬくもり推進事業実施計画書（実施要領 様式第1号）
※実施計画書の提出により補助金交付が決定するわけではありません。
下記の4.、5.に示すとおり、対象事業の認定後、交付申請を受けて補助金交付を決定します。

(3) 提出先 大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課 森林支援グループ

4 対象事業の認定について

提出された事業実施計画書の内容を審査し、事業実施主体からのヒアリングを実施し、順次、対象事業を認定し、応募があった事業実施主体に通知します。

5 交付申請・交付決定について

認定後、事業を実施するに当たっては、別途、補助金の交付申請が必要です。事業は、府からの交付決定の通知後に着手してください。交付決定前に事業に着手することで発生した経費は補助対象となりません。

交付申請は予算の範囲内で受け付けます。申請額が当該年度予算額を越える場合には交付申請書を受け付けることはできません。

6 その他

提出書類の様式等の電子ファイルについて

本募集要項、提出書類の様式及び実施要領の電子ファイルは、下記大阪府公式ホームページに掲載していますので、ご活用ください。

<http://www.oscf.or.jp/inf/siderikikaku/shirinkakasei/index.html>

問い合わせ先

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 森づくり課 森林支援グループ
住所 〒558-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16（大阪府咲洲庁舎23階）
電話 06-6210-9556

「森林環境税」による森林保全の取組

子育て施設木のぬくもり推進事業

幼稚園や保育所などの子育て施設において、「おおさか材」を使った内装の木質化に係る経費の1/2以内（上限額250万円）を助成します。



保育園の木質化



図紙ホールの木質化



ウッドデッキ



木製建具

大阪府では、子どもの成長環境を充実するとともに、子どものころから木材に接し、その良さを体感し、森林の大切さについての理解を深める「木育」の促進及び府内の森林資源の適正利用による健全な森林の保全に資することを目的として、「子育て施設木のぬくもり推進事業」を実施しています。

129木質化施設一覧（5/19）

くらの幼稚園	豊中市	豊中市北幼稚園	豊中市	さつきこども園	池田市
みどり幼稚園	生野町	杉本保育園	高槻市	豊楽南児童保育園	大坂市
こぐま保育園	大坂市	下福成幼稚園	大坂市	なかの幼稚園	大坂市
おゆき学園	大坂市	梅香幼稚園	大坂市	東田のこ幼稚園	大坂市
平均の子保育園	大坂市	万代幼稚園	大坂市	絵美学園	大坂市
めぐみ保育園	大坂市	青柳保育園 分園	枚方市	ハレルヤ保育園	枚方市
みずさくら保育園	枚方市	たいよう学院	東大坂市	福南台保育園	羽曳野市
みつばち保育園	枚方市	国天主寺慈母幼稚園	寝屋川市	清高幼稚園	堺市
鎌倉幼稚園	堺市	しおのの森保育園	堺市	堺北園	堺市
たけしる幼稚園	堺市	双の松こども園	堺市	新木多幼稚園	堺市
なるにっこ認定こども園	堺市				